京城日報

本紙定價 每號一部金五錢 ▲壹ケ月郵稅共前金壹圓拾五錢 ▲三ケ月同三圓參拾錢 ▲六ケ月同六圓五十錢 ▲郵券代用一割增
廣告料 五號十四字詰一行 特別 ……
發行兼編輯人 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

京城日報
果して成算ありや
平元鐵道豫算復活運動に就て

平元鐵道敷設問題は、朝鮮に於ける多年の懸案にして、曾て京元・南線未設の際に、之と前後を爭ひたることありしが、遂に宇治川の斷罪となり、再び京元線と抗爭して、復又其の後塵を拜せざるべからざるの憂目を見、關係地方の有志が、憾みを忍びて今日に至れる、洵に諒察すべきものあり。當局に於ても固より朝鮮の開發上、此の線路の須要を認め居れるを以て、第四十一議會に於いて、大正九年度より建設工事に着手すべきを公約し、總督府の第一編成豫算には之を大正十五年までの繼續事業となし、九年度に於いて二十萬圓の經費を計上せられたりとの情報あり、關係地方民をして一旦胸撫下して歡喜せしめたるが、いよ〳〵大藏省の査定に上るに及び、總督府の要求せる一般費の補助額が、非常の削減を蒙りたる結果として、第三豫算を作成するに當り、遂に此の二十萬圓を削除せられたり。是に於て關係地方、特に元山平壤の兩市に於て猛然として起ち、帝國議會に向つて其の復活を要求せんとするの議を決し、目下委員の選定中なりといふ。案ずるに平元鐵道着手の繰延べは、豫算の按排上、萬止むを得ざるに出でたるものにして、當局者としても不本意の事たるに相違なし、唯其の初年度に於ける事業は要するに實地調査の外に出でざるを以て、好し一箇年位之を延期したりとて、大正十五年の完成期に影響を及ぼすの虞なきを豫期し、僅々二十萬圓なれども、之を削除するに決したるものにして、事情の諒すべきなきにあらずと雖も、公約取消しといふ上より見れば、亦遺憾なしとすべからず。

されば若し帝國議會に於て地方民の情願を容れ、豫算の復活を圖るに至らば、僅に二十萬圓に過ぎざるの豫額を、尨大なる豫算のいづれの處よりか捻出するは決して至難にあらざるを信ずと雖も、比較的に朝鮮の事情に迂なる議員側には、例の自給財政の約束を口實として、反對の態度に出づるもの多かるべきを豫想せざる能はず。又總督府當局としても一旦繰延の議を決し、二十萬圓の調査費を豫算面より排ひ除けたる以上は、たとひ有志者の陳情に共鳴する所ありとも、熱心に復活を主張すべしとは思はれず。彼此合せ考ふるときは、此の運動の成功は頗る覺束なしといはざるべからず。此の難關を突破して、飽まで目的を貫徹せんには、有志者特に京城委員たる人々の、十分の熱心と熱心なる運動に待たざるべからず。知らず有志者果して其覺悟ありや否や。

吾人は平元鐵道敷設の延期に延期を重ねたるに對し、該地方の爲め氣の毒を感ずるものにして、相成るべくは公約通り明年度より着手の運びと爲らんことを熱心に希望すと雖も、退いて之を考ふるに、當局の考案の如く、十五年度の完成期を短つが如きことなからんには、今日の場合暫らく之を隱忍するの可なるを思はざる能はず。聞くが如くんば關係地方有志間に於て、運動費用の出處及び負擔に就いて、多少の異議ありといへり。果して然る事のあらんには、上京委員に心血を濺いで活動するの決心を與ふるに大なる障害と爲るべし。慨くは記して事の成行きの如何を見んと欲す。

潜水艇戰
軍令部參謀　日高大佐談(二)

而して當時の獨逸に於ける潜水艇の數は佛國から調査されたものに依ると百六十隻あつたといふのである。戰ひには此百六十隻全部を用ひるのでは無くて其二分の一乃至三分の二を用ひたものである。而して他のものは守備に用ふるとか乘員の休養に用ひたものである。次には獨逸の潜水艇建造力は如何といふに確實なことは不明であるが、一ヶ月平均七隻宛は建造される如くである。又其海上に於る行動日數は如何といふに、艇の種類によりても異なることであるが、一ヶ月以上も海上に在り得るものもある。けれど大抵は三週間乃至四週間、又は三日乃至一週間位のものもある。三週間も一ヶ月も出動するには食料其他の物資は如何にするかといふに、當時其疑問に對して『分らない所に食料や根據地がある』といふことが獨逸派の新聞等に掲げられてあつたといふことである。然り其れは全く意外な所に食料や根據地があつたのである。聯合國も彼のチャンネルス、アイランドの島民を買收して其處に食料を置いて居つたのである。又西班牙の西海岸ビルバオ港等からも石油[illegible]に載せて沖合に出て居つたのである、これは英佛は早くより之れを固く信じて居つたのである。又西班牙領のミノルカ島には無線電信所があつて種々の情報を獨逸に傳へて居つたのである又西班牙領海内にブイがあつた、そして他國人の乘つてゐた短艇があつた。聯合國からは之等の正體を見屆て西班牙政府に抗議を申し込んだ、其處で西班牙政府は嚴重に之れを調査して見ると、防水布で包んだ所の罐が諸所に浮かべてある。罐を開して中を見ると石油、糧食、[illegible]報等が入れてあつたといふことである。其の數三十幾個と調査されてあつた。短艇に乘つて番をして居るものは誰かといふと獨逸の潜航艇兵と地中海の司令中佐とであつたといふことである(東京支局)

妻となりて (二)
布施生譯

眞壁と雅子とが許嫁の噂は擴がのやうに交際社會で妙齡の娘持つた母親や娘自身の耳を打つた。雅子程の令孃が妙齡になるや否苦もなく夫の定まると云ふのは固より然るべき事で今更問題の有りやうは無い、唯不思議なのは夫となる眞壁が從來幾人とも言はず美しい女を觀もし知りもして凡は人目を驚かす程立派な結婚をする幾多の機會が有りながら結局雅子のやうな世間不知の小娘に身を許したと云ふ一事であつた、しかし直接眞壁を知らぬ世間の人達は噂を聞くと左もこそと謂はぬばかりに頷き合つて、ははあ讀めた、鐵階家は此頃大分お手許が不如意のやうに聞いてゐる、それであの寡婦さんが娘を囮に、いや何種はちやんと上つてゐると賢そうな悪口を言つてゐた、しかし眞壁の方では一向そう云ふ陰口のある事も氣がつかず況してそんな事に氣を廻すやうな性質では無し、彼は魔術に懸つた人のやうに抑もの初めから雅子の纖細な手に心の底まで握られてしまつたのであつた、眞壁に取つては雅子は一個の生きた微妙な謎の高い花であつた、許嫁が濟んだ後でも雅子が自分に許され自分の物となるとは思ひかねて吾と吾が運を怪しむ折さへ尠くは無かつた、それ程雅子は眞壁の心を領してしまつた。

暮近く眞壁は又埒内へ出た、まだ手入に餘念のない職人達に彼を指圖し彼處を註文してや、薄暗がりの中を歩きながら心は常に雅子の上に飛んでゐた、一二時間後には祭の催しに加はつて埒内に現はれる許嫁の美しい姿を思ひやると、それからそれと其場の樣子が想像される、雅子は實の處眞壁に取つて子兒對手の時のやうな可愛さが勝つてゐた、母夫人の俗つぽさは二三度遇ふと紛れもなく氣がついた世間を知つた人の事とて雅子の周圍は肩書の大層らしい人こそ多けれ實は餘り高尚なものでは無い事すら直に分つた、まして見候補の放蕩と貧償とが世間の口の端に上つてゐる事位は固より初めから知りぬいてゐた、しかしそんな事柄はどうでもよい眞壁は唯もう雅子が自分の處へ來て自分の物になる日をのみ美しく眺め暮した。

眞壁は結婚後直に花嫁を大規模の旅行につれて出る心算で計畫を立てた、眞壁は元來旅行好きであつた、舊は雅子を暫らく母から交際社會から更に其交際社會の小さな戒儀な汚さから引離して遠い〳〵別の社會につれて往かうと思ひ立つた、其時期は今や日暖の間に迫つてゐる、明日は雅子と母夫人とは別莊を辭して家に歸り一週間後には式を擧げる手筈になつてゐた。

式は是非共倫敦で盛大にといふのが母夫人の意見であつた、眞壁の方は朝早くこつそり會堂へ往つて夫婦固めの誓詞をそつと花嫁の耳に囁きたいといふ、見得坊な母夫人はそんな見すぼらしい事は大の不賛成で、これ丈けは何と說いても頑として一歩も曲げない、そんなら雅子自身はといふとこれは又一から十まで母親任せで自分は一向可も非も無い、そんな處を見ると眞壁は雅子が自分に嫁ぐやうになつたのも畢竟は全く母夫人の指圖の儘で自分は結局何と云ふ考へもないのかと輕い疑懼を感ぜずにはゐられなかつた、そう思ふあとから直に雅子の美しさ鮮かさ邪氣なさが錦繡のやうに眼に浮かんで忽ち今の厭な考へを打消してしまつた、兎もあれ眞壁は一刻も早く雅子を此樣な氣樂蜻蛉で不自然な匣入生活から引上げて強い人間味のある感の日光にあてたいものと只管其日を待焦れた。

▲文部省發表の ▲誰れにも出來る
萬病根治 灸點療法
▲日本で初めて出來た灸點療法の秘書(圖入說明)
◇諸博士調査濟 本書は今回文部省に於て帝國大學教授大澤、三宅兩醫學博士を始め六大名家を囑託委員として研究調査の結果發表せられたるものを基礎として著述せるものにして腦病、リウマチ、胃腸病、子宮病、痳病、かつけ、神經痛、ろくまく、ぜんそく、せき、中氣、じんぞう、ちくのう、たんせき、ねん小便、せんき、じんぞう、てんかん其他萬病根治に偉大なる特効あるものにして今回醫學博士が研究の結果灸の點數を僅に二三點に減じ病氣によりては僅に二三點にて充分効力を發し而も本書記述の
◇無痛無痕法に依れば少しの痛みも感ぜず女でも小供でも容易に出來得るが故に何れの家庭にも必ず備ふべき寶典
◎特價 限り千部 九十五錢 希望者は今日切れぬ内に新聞名記入注文次第代金引換にても送る 前金注文送料共一圓
東京青山六丁目 振替東京二七四七三 有敎社

懸賞募集
考案問題 賞金 一金五百圓 二等金參百圓 三等金百圓
當選したる方法は必ず實行して安全に投資し… 千圓を投じて資金拾萬五千圓を… のこと一等當選者には… の一を贈呈す
加賞
締切 大正九年一月二十五日
發表 大正九年二月十日
審査 全國有力なる新聞記者十五名以上に依頼す
エビス新聞社

商業登記公告
一、株式會社朝鮮殖産銀行社債參回 … 社債總額金貳百五拾萬圓、各社債ノ金額金拾貳圓 … 利率年五分五厘 … 社債償還ノ方法及期限元金八據置… 五年間据置後拾年間ニ年貳回… 均等償還ヲ爲ス利息ハ毎年參月九月各壹日ニ前六箇月分ヲ支拂フ … 右登記ス
大正九年 月 日 京城地方法院仁川支廳

商業登記
株式會社朝鮮殖産銀行第參回社債 … 社債總額金貳百五拾萬圓 … 右登記ス
大正九年 月 日 京城地方法院開城支廳

▼採 用▲
チアテルミー係 助手 一名
内地人 但十八九歳以上二十五歳迄ノ者
希望者履歷書携帶本人來談あれ
京城日報社代理部

▼廣 告

官營平壤無煙煉炭左ノ通リ價格改正販賣仕候

地名	種類	大口扱（貨車ごと）	小口四半屯以上一屯毎	箱入五個入四半屯以下	特約店
京城龍山	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・〇七／一八・二七	一三・九四／一二・六五	一・〇五／・九九	京城 苫米地商店
仁川	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・二七／一八・四七	一三・一八／一二・八三	一・〇六／一・〇〇	仁川 三井物産會社
平壤	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二〇・六四／一六・八四	一一・六五／一〇・〇六	・九九／・九二	平壤 朝鮮商工會社
鎭南浦	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二一・四九／一七・六九	一二・四二／一〇・九四	一・〇二／・九六	鎭南浦 朝鮮商工會社
大邱	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・三二／一九・五二	一四・四六／一三・二八	一・一一／一・〇六	大邱 苫米地商店出張所
元山	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・九八／一九・一八	一四・一四／一三・九一	一・一〇／一・〇四	元山 吉田商會
大田	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・八〇／一九・〇〇	一三・八一／一三・五二	一・〇八／一・〇三	大田 大田運輸合資會社
水原	第一種煉炭(二ツ穴)／第二種煉炭(三ツ穴)	二三・三五／一八・五五	一三・二〇／一二・八四	一・〇六／一・〇〇	水原 中島商店

○小口扱及箱貨は持込みの設とす數量は御改め御受取被下度候
○右價格は平壤鑛業所御指定値段に就き右以上に販賣せし特約店又は小賣店有之候節は三井物産株式會社京城支店へ御申越被下度候

一手販賣 京城黄金町 三井物産株式會社 (電話六〇〇七番)
開城以南特約店 京城古市町一四 苫米地商店 (電話九四一番)
開城以北特約店 平壤 鎭南浦 朝鮮商工株式會社 (電話平壤五〇一番・鎭南浦一〇七番)

人生教育 新エミール
好評廿一版
ルッソーのエミールによりて、是れ歐米近進の識者を震駭せる、世界大戰の産物たる世界的一大文學、英國最近世史と大戰とを背景とせる社會改造の小說、創造的進歩の敵たる舊教育を打破し、新建設を主張せる新教育小說。ルッソーのエミールにより「自然に歸れ」と唱へられたる者は更に英國の大天才ウエルズの新エミールによりて、遂に積極的な社會改造の方面に進まざるべからず。
三浦關造先生新譯 ウエルズ先生原著 四六版四百七十頁 洋布裝頓最美本 定價金壹圓八拾錢 送料拾貳錢

最新刊
江部鴨村先生譯 口語全譯 妙法蓮華經 全壹册 四六判七百五拾頁、總振假名附 解說付總洋布裝幀美本 定價金貳圓五拾錢 送料内地拾六錢
本書は日本に於ける唯一の法華經現代國語譯である。日本語に對する自覺せる、強い愛着さから出發した、譯者が苦心の結晶である。至難なる經典を、噛み碎いて、何人にも讀み易く解し易からしめたるところに本書の特色がある。文殊菩薩唱すらく「そのみ光は東の、よろづの國を照しつゝ、ありとあらゆる人々の、生死のさまや善惡の、報の姿示しけり。そのみひかりに照されて、慈悲をもつて飾られし、佛土あまねく輝きて、吠琉璃の色さまがひつゝ」と、懐かしき世尊の妙諦に接せんと希ふ大方の爲に敢えて本書をお薦めする。
江部鴨村氏著 三版 貧者の一燈 定價壹圓七拾錢 送料拾貳錢 出來
本間俊平先生著 勞働と信仰 四六版約三百頁 洋布裝幀最美本 定價金壹圓八拾錢 送料金八錢 最新刊
著者曰く、健全なる信仰は勞働によりて生るさ、世道日に非なるの時、山居廿年感化事業に没頭せる此の大偉人の、救國救世の聲に聞くべし。
自學奬勵會御編纂 家庭教育講話 四六版三百餘頁 洋布裝幀最美本 定價金貳圓 送料金八錢 最新刊
家庭は人間養成の苗圃である。その苗圃の改善に資する。該かれた教育界諸大家の高教を蒐錄せるものは本書である。子女教養に熱意する士の一讀を望む。
東京高等師範教授 樋口長市先生著 愛兒の躾方と愛兒の教育 定價金壹圓八拾錢 送料金八錢
子供の教育はどうしたらよいか、學校の成績はどうしたら良くなるか、此の二つの難問に對し、平易に且つ明快に、誰にも分かるやうに解答を與へたのが本書であります。
市川源三先生著 乳兒の教育 中形洋布裝幀背入美本 ポイント振假名三色版口繪 定價金壹圓 送料金六錢 最新刊
發兌元 東京京橋南鍋町 振替東京八三五三 隆文館

開業廣告
謹啓時下新春の候各位愈々御多祥の段奉慶賀候陳者弊社儀舊臘成立後開業準備中の處本月二十日より左記の箇所に於て營業開始仕候條何卒特別の御愛顧相蒙り度右御披露旁新聞紙上にて御挨拶申上候

日華木材株式會社
本社 京城府黄金町一丁目百十七番地
出張所 安東縣江岸通三丁目十六號地
同 咸鏡北道清津港明治町

資本金壹百萬圓
營業種目
一、森林ノ伐採
二、木材ノ賣買及委託販賣
三、一二項ニ附隨スル各種事業
四、右事業經營者ニ資本金ノ貸與

取締役社長 和田常市
專務取締役 伊藤勘三
取締役 中野谷秀雄
同 松本豐作
同 柏木庫治
同 隅田石太郎
同 末森富良
同 關繁太郎
監査役 須川久彦
同 松村拾次
同 安部榮太郎
相談役 清水繁太郎
同 山本村太郎
同 志岐信太郎

各種中等學校入學受驗準備の唯一顧問
受驗と復習
二月號 中學校高等女學校等全國男女公私立中等學校の入學試驗は愈目前に迫れり胃病に胃活受驗準備に復習と受驗速に本誌を讀みて優等の成績を得て入學せられよ
本誌一月號には受驗準備算術公式並形式全集を掲載中等學校入學志願者の虎の卷なれば是非本誌を座右に備へられよ。
改正定價 一册廿六錢(送共) 六册分前金 一圓四十八錢 十二册分前金 二圓八十二錢
愈々出來 ▲發行所 東京牛込區矢來町四番地 振替口座東京五七五七番 南光社

第九改訂增補版 日本制裁法規
清水の 日本六法全書
最新刊 (製本既成)
イ印 定價參圓五拾錢　ロ印 定價貳圓七拾錢　ハ印 定價貳圓五拾錢
ニ印 定價貳圓貳拾錢　ホ特 定價參圓貳拾錢　ヘ特 定價貳圓貳拾錢
ト上 定價壹圓八拾錢　チ上 定價壹圓八拾錢　リ並 定價壹圓五拾錢
三五版總革包特製函入紙數三千百頁送料内地金廿四錢 定價金五圓
東京小川町 神田今川 東京路二丁目 清水書店 電話本局九九六四 振替東京四六七・五一六七四

職業
資金 一千枚八圓以上 遠近男女共自宅で手軽に出來るキレーなタナ加工 年中無休見本付說明書は郵券十五錢を要す 東京本郷區小石川丁目八番地 三九五四 二見本店

京城旭町通一丁目 小野專門分工場 電話一二四三 ▲靴工場製品は品質本位にて價格も亦最も低廉なり

倉持特製實用靴 編上靴及短靴
一枚革深ゴム靴
新品 中古 各號 金 …
御注文の節は定價と文數を御記入の上御送付被下度 一割引
東京本郷 倉持靴店 振替東京二〇五三六

洋鐵鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品
瓦斯管
カナエパッキング會社代理店
京城南大門通二丁目 合資會社 南方商店 電話長一六八九 一七五五 振替一九三一

山東公文書交附
交渉開始準備成る

小幡公使は本省の訓令に基づき十九日午後四時外交部を訪問し外交總長代理と會見し日本が山東の利權を繼承したる旨の公文書を交附すると同時に日本政府は何時にても支那政府との間に日支條約の規定に基き山東還附交渉を開始するの準備ある旨を通告せり（北京電報）

對支通牒内容

小幡公使の通牒内容は講和條約の効力發生に依り日本は山東に於ける獨逸の利權を繼承し日支協約に基づき山東を還附するに就き兩國委員を出し北京にて其の方法を協議し度し貴國政府の意見如何回答を求むと云ふにあり（北京電報）

獨逸對支提議
支那不調印と山東問題

獨逸は批准交換後支那に對し（一）在支獨逸人及び會社の財産を再び沒收せざること（二）獨逸人は支那にて自由に貿易し得ること（三）前天津獨逸總領事シエーレルトを非公式の外交官として支那に駐剳せしむること等の提議を爲したるが支那政府は講和條約に調印し居らざれば之を拒絶することに決したるが這は山東問題に就き支那不調印の結果日本が如何に獨逸の權利を繼承するも無効なり此意味を含み居るものなりと解せらる（北京電報）

排日團使節歡迎

北京上海間の排日各團體は近く歸國すべき陸徴祥王正廷兩氏の爲め歡迎會を催すべく準備中なるが這は陸氏等をして山東問題に關し日本と直接交渉を爲さしめざる爲めの牽制運動なりと解せらる（北京電報）

露國問題討議
ク氏依然最高會議長

アドリアチツクに關する諸問題解決迄クレマンソー氏は依然最高會議々長たる可しと信ぜらる尚最高會議は十九日露國問題の討議を開始せり（巴里電報）

ミ氏内閣組織か

ミルランド氏は佛國内閣組織を要求せられたるが十九日是れに對し回答を爲すべし（巴里電報）

過激首領の横暴
社會革命黨の憂慮

過激派首領カシルタシエリーは司令部を率ゐてイルクツクに乘り込み旅館を徴發し勞働者に武器を供給する等傍若無人の振舞を爲しつゝあり社會革命黨は之に對し講和を申込たるも拒絶され同黨は抵抗力無きを自覺し自己の運命を憂慮しつゝあり（浦潮電報）

無電所員過激撃退

ハバロフスクに於ける我無線電信所は去る十四日約五十名の過激派の襲撃を受けたるが所長以下從業員一同極力防戰の結果過激派を撃退し事無きを得たり（東京特電）

山東省長訓示
各學校十九日より授業開始

山東省議會並に支那官憲協議の結果各學校共十九日より授業を開始する事に決したるが同時に省長は道尹縣知事學校當局學生等に排日運動をなすを禁止する旨訓令すると共に學生の行動が愛國を標榜するも其の結果不良に陥る事教育と國家の盛衰との關係を詳細に亘りて訓示を發せり尚十六日には官民合同新年宴會あり一般に形勢緩和されたり（濟南特電）

勞農政府承認乎

最高會議は[illegible]勞農政府を全然承認す[illegible]

米兵撤退と露人

米軍中の西伯利鐵道管理員の行動は恰も過激派と同様なりとて露人は一般に其の撤退を喜び居れり（哈爾賓電報）

駐獨代表任命

二十一日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

獨逸國駐剳被仰付　大使館參事官　出淵勝次

論功行賞近く發表
閣員は辭退

歐洲大戰より引き續き講和締結に至る迄の論功行賞は近く發表さる可く右は戰時外交の中心と成れる大公使等派遣使節の順序にて表さるゝ由なるが國務大臣の行賞に就ては首相の持論に依り孰れも辭退するに決し行賞範圍は比較的少數なりと（東京特電）

二大學成立認承

廿日臨時教育調査會開催され慶應早稻田兩大學昇格問題に就き審議し結局二大學成立を認むる事に決定せり（東京特電）

首相使節招待

原首相は二十一日勞働使節一行を官邸に招き午餐を開く可し（東京特電）

政友會幹部會
對議會策協議

政友會にては十九日午後五時より永田町首相官邸に於て最高幹部會を開き二十日の大會に附議すべき宣言書案並に總裁演説の要旨に就き協議を凝らし大體の成案を得夫より對議會策に移りたるが普通選擧問題に對しては國民黨の提案にも憲政會の提案にも無論反對すると決定せり次に對貴族院問題は物價政策に對する態度に對しては誠意を披瀝して能く其事情を説明せば貴族院も必ず夫れ以上の無理は云はざるべく尚其他議會開會中に起るべき諸種の問題及び議場の推移に就ては千變萬化形勢の推移に應じて其態度を定むることゝし十時散會せり（東京電報延着）

憲政普選可決

廿日憲政會議員總會にて普通選擧問題に就き最後の討議を爲したるが結局次の總選擧より施行すべき案を可決し特別委員を擧げ原案を附議し滿場一致可決更に總會に諮り之れ又滿場一致にて可決せり（東京特電）

柳生氏逝去

日本郵船取締役柳生一義氏は流行性感冒にて二十日逝去せり享年五十有七（東京特電）

下瀬軍醫監一行

第十三師團西伯利出征の爲め軍醫監下瀬謙太郎、獸醫監武藤喜一郎、主計監瀬正德三氏は二十一日朝釜山上陸十一時鮮滿直通列車にて北行せり（釜山特電）

尾藤司令官北行

尾藤獨立守備隊司令官は廿日午前一時四十分長春發一時半東清列車にて哈爾賓に向へり（長春特電）

伊國大尉渡鮮

伊國陸軍大尉アレキサンドルピアノ氏は朝鮮内蒙陸地視察踏査の爲廿日午後七時東京發渡鮮せるが一行は同大尉と下士官ドンゴ、マネンデー氏の三名なり（東京電報）

大正八年の朝鮮
鑛業界の現況
軍需鑛物の減退＝輸移出不振

朝鮮鑛業界は時局の影響に依り銅鐵タングステン鱗狀黑鉛等の軍需鑛物の價格は一時昂騰し産出多かりしも時局の終結に近づくと共に市價暴落し收支相償はず休山廢坑續出するに至れり又朝鮮鑛業の大宗たる金は諸物價昂騰に伴ない採掘及製錬の諸材料勞金其他の生産費著しく騰貴したる爲め含金品位の最も良好なるもの又は鑛業の規模の整備せる鑛山の外は收支償はず已むなく廢業或は休山の状態にあり獨り石炭は内地及び滿洲炭の輸移入激活ならず且各種工業の發展に伴ない需要増加し市價亦昂騰の爲め石炭鑛業の新出願増加し採炭に從事せむとするもの續出するに至れり其の他鱗狀黑鉛の市價は漸次強調を告げ又土狀黑鉛等は相當の市價を維持せるを以て他の鑛物に比し操業するもの尠しとせず要するに朝鮮鑛業は

時局の影響

に依り消長せしは數の免れざる處なるも漸次交通機關の發達經濟界の平調等に伴ない斯業の發展は期待するを得べしと認む今大正八年一月より十月末日迄に於る鑛業出願件數處分件數鑛業輸移出の状況を窺ふに大正八年度の鑛業出願件數は八百廿九件にして前年度に於ける三千四十九件に比すれば實に其の二割七分に過ぎず之れ大正八年中に於ては前述せる如く軍需鑛物の需要減退市價の低落生産費の昂騰等に基因す從つて之が許可件數に於ても前年中の八百五十三件に對し四百十件にして其半ばに達せず而して大正八年に於ける

許可以外の

處分即ち不許可却下取消拋棄等の處分は二千百八十五件にして前年度の一千五百十七件に比し約二倍の増加を見たり之主として一般物價の不況に基因するものゝ

鑛業の不振は輸移出額に於て非常なる減退を示せり即ち前年度輸移出總計二千七百三十三萬七千五十八圓に對し一千九百八十四萬一千五十圓にして約七割に減少せり（鑛務當局者談）

政友會大會

政友會大會は二十日午後二時本部に於て開會原首相以下各幹部[illegible]勳氏各地よりの祝辭祝電を披露し最後に原總裁の發聲にて兩陛下の萬歳を三唱して大會を終[illegible]

李王天機奉伺

李王並に李堈公殿下より二十一日午前齋藤總督に對し天機並に御機嫌奉伺方依頼ありたるを以て齋藤總督は同日波多野宮内大臣宛發電したり

齋藤總督奉伺

齋藤總督は二十一日午前天機並びに御機嫌奉伺執奏方波多野宮内大臣宛發電したり

總督宣教師招待

齋藤總督は二十一日午後七時總督官邸にウエルチ氏夫妻並にスミス氏夫妻を招待し晩餐會を催したるが守屋伊藤兩秘書官今村通譯官等列席せり

炭坑夫の同盟罷工（二）

在紐育本社特約員　劍橋生

十一月一日は來た豫定の如く全炭坑夫同盟員四十二萬五千人は一人も殘らず出動を止めた、之れより先き司法卿パーマー氏は一時的の所謂緊急法第十七條とも云ふべき宣言を發し以て同盟罷工運動を不便にし罷工より受くる損害を免れんとした、而して之は同時に勞働者の同盟罷工權を否認する者として新聞雜誌に論ぜらるゝに至つた、然しパーマー氏自らも努めて勞働者の

同盟罷工權

を否認し若くは妨害するものに非ずして只同盟罷工に贊成せざる他の勞働者を罷工者が勸誘するを防ぎ他方之等の同盟罷工反對者を保護するのみにあることを辯解した、かゝる間に一方には全鐵道勞働者は此炭坑夫の同盟罷工に同情しやゝもすれば彼等自らもストライキに加はらんとする形勢を示し形勢は刻々悲運に立至らんとした、十一月十日パーマー卿は再び宣言を發して云ふに石炭夫のストライキは國法に反するものと認む之政府當初よりの立場である勿論此法律の關するところは資本家と勞働者間の爭ひに立入るにも非ず又ストライキの權利を否認するのでもない政府は兩者が相和解せんことを希望し努力したにも拘らず遂に彼等は其希望に應じなかつた政府としては之等少數の同盟罷工者よりも國民全部の幸福安寧に努力する外ない故に政府の命に服從せざる者は嚴重に所罰する外なしと、十一月二十日に至つて資本家は石炭一噸に就て十五仙の増額を呈出したが勞働者は之を嘲笑を以て迎へた、此の間に在つて兩者

調停の任に

當つた勞働卿ウイルソン氏は勞働者側の賃金六割増額を非なりとし三割一分の増額案を提議し勞働者側は將に此要求を容れんとした際突如十一月二十六日に至り政府は燃料管理官ガーフイルド氏をして賃金一割四分の増額案を提出せしめた、之に對し勞働者側は之れ政府が資本家より懇迫されたる爲めであるとし極力反對した、一方炭坑所有者等は賃金一割四分増額の廣告を所々に掲示し何時にても歸り來る者あらば増額せんことを示した、資本家側では此際罷工を中止して就業する者あらば充分の保護を與へ一方かゝる者に妨害を加へんとする者あらば何時にても嚴罰に處すべきことを布告した、カンサス州にては知事の布告に應じて三千七百の人々が其日常の業務を止めて自ら坑口に入つて石炭採掘を企て中には多數の大學生も加はるに至つた然し乍ら石炭の採掘高は益々減少し來りあらゆる社會生活を脅威した、大統領ウイルソン氏は

再度の教書

を發して一方に於て政府は賃金一割四分の増額案を提議すべしとの指示を附し[illegible]之が現在の生活費騰貴の時に當つて最も適當のことなりと信じたからである之以上の附額を試むれば結局石炭の價格を高くするの外なく之は政府の好まざる所である故に此世界的危機に當つて坑夫諸氏は一日も早く就業せんことを望むと云ふのであつた更に他方に於て政府は[illegible]根本問題に對し特別委員を任命し[illegible]増額を協議すべしとの指示を附した、[illegible]坑夫全部は職に就くべきことを十二月十日の今日に至つて發表し漸く終結した。

屑屋の籠
クロポトキンとは如何なる人乎

隈汀生

我が東大助教授の『クロポトキンの社會思想研究』が、はしなくも危險思想の宣傳として起訴せらるゝに至りしより俄に評判となりたるクロポトキンは如何なる人ぞといふに、氏は露國名門の出にして、公ペテロ、クロポトキンと云ひ、今年七十七歳の世界的に名高き學者であり、其の著書は殆ど總ての歐洲國語に翻譯せられた。元來無政府主義の思想の中にも二派ありてゴツドウイン、ヌチルチル、プルードン、トルストイ等は甲の派に、クロポトキンはバクーニン等と共に乙の派に屬し、兩派各々其の思想に多少の相違がある。公は嘗て帝政の世には一要塞に捕はれの身となり居たりしが、後遁れて英國に入り、此處に留まること多年、專ら理科及び哲學上の著作に從事し、初めの無政府主義者の首領たりき。一九一五年歿傷かりしも夕しからずして露國に歸り、一九一七年露國革命の後は本國に歸り、翌年復た捕へられしも、今は獄を出で、力を其の思想の宣傳に盡しつゝあり。昨年の秋、公が訪問せる一新聞記者に語りたる『西比利の現狀に關する意見』は同年十一月十五日發行の『リテラリー、ダイゼスト』に見ゆ。

佛蘭西の新大統領

佛蘭西の新大統領にクレマンソーの當選せられざりしは、同國の近狀より觀て稍々意外の感あれども、今回大統領の候補者たりしポール、デシヤネル氏も亦現代の一大人物として世界に知られたる人なり。氏は本年六十三歳にして、過ぐる四年間佛蘭西の下院議長たり。政治的手腕の外に、文章を能くするを以て名あり、現に佛蘭西學士院の會員なり。佛國大統領の任期は七年にして上院及び下院合同して之を選擧し、別に副大統領を置かず、若し大統領が闕くるに至らば直に兩院合同の會議を開きて後任者を選定す。大統領は年俸金貳萬四千磅の外、別に交際費として一ケ年金六拾萬法を受く。

巴里に新聞唯一ツ

京城佛國領事ガロアー君の同國新大統領に就きての談話（昨二十日の京城日報）中に『巴里にては新聞全部發行せられず、唯一ツ『ラ、プレス、デ、パリ』あるのみで詳細の事は分らぬ』とあり。是は昨年十一月巴里に於ける新聞社の印刷部に職工の大同盟罷工あり、其の爲めに約五十社の新聞社長相謀り、共同して新に一社を組織し、同月十一日初めて刊行したる新聞なり。當時新聞社側に屬する新聞社は、他に先んじて職工の要求を容れたれども、尚ほ容易に發行を繼續するに至らざりしが、爾來二ケ月を經たる今日は最早平常に復せるならんかと想はる。余が倫敦より取寄する『タイムス週報』も昨年十二月の號は未だ京城に郵送せざるより見れば其の頃巴里に於ける唯一ツの新聞が未だ鮮內に寄せざるが故に、詳細の政況が分らぬとの事ならんか。

昨年朝鮮貿易（一）
入超五千八百四十一萬餘圓

一總況

大正八年の朝鮮貿易額は輸移出二億二千六百三十一萬餘圓輸移入二億八千四百七十三萬餘圓合計五億一千百四萬圓に達し之れを前年と對比するに輸移出六千四百三十八萬餘圓（四割弱）輸移入一億二千三百九十三萬圓（七割七分強）合計一億八千八百三十二萬餘圓（五割八分強）の増加を示し出入の權衡に於ては入超五千八百四十一萬餘圓を算し前年とは全く

反對の現象

を呈せり今右出入額を貨物と地金銀とに區別掲記すれば左表の如し

貿易額二年比較（單位圓）

		大正八年	大正七年	増減（△）
貨物	輸移出	二二一、八九九、八三三	一五五、九〇三、九八〇	六五、九九六、八五三
	輸移入	二八三、〇九六、八〇七	一六〇、四四四、九四四	一二二、六五一、八六三
	計	五〇四、九九六、六四〇	三一六、三四八、九二四	一八八、六四七、七一六
金銀地金	輸移出	四、四一五、七〇九	六、〇三三、〇三一	△一、六一七、三二二
	輸移入	一、六三三、七六二	三〇九、九九六	一、三二三、七六六
	計	六、〇四九、四七一	六、三四三、〇二七	△二九三、五五六
合計	輸移出	二二六、三一五、五四二	一六一、九三七、〇一一	六四、三七八、五三一
	輸移入	二八四、七三〇、五六九	一六〇、七五四、九四〇	一二三、九七五、六二九
	計	五一一、〇四六、一一一	三二二、六九一、九五一	一八八、三五四、一六〇
出又は入超		五八、四一五、〇二七	一、一八二、〇七一	

備考　本表には陸接國境貿易を含む但八年分は概算とす

本年の朝鮮貿易が破格の進展を遂げたる所以のものは蓋し客臘休戰以來一時動搖の兆を呈せし内地一般經濟界が其後安定を保持すると共に依然戰時中の好況を持續せるを以て延て之と脣齒の關係に立てる

半島の財界

も益々活躍し之に加ふるに物價の昂騰月を逐ふて甚だしく殊に本年は旱魃の爲め移出品の騰貴率遙に輸移入品を凌駕せしを以て交易上極めて有利の形勢を醸し内外旅館の殷賑に伴なふ海陸運送力の増加、排日的傾向の擡頭、戰時中[illegible]節約の反動等諸種の事情相錯綜して貿易の隆盛を致せしものと謂ふ可く一面平和來の反響として現はれたる鑛産界の不振、惡疫の流行、騷擾事件の勃發、支那に於ける日貨排斥運動等貿易上障碍たる事故頻發したりと雖も之等は多く局部若くは一時的の影響を止めしに過ぎず若夫中部以北の大旱魃に至りては被害地方に於ける將來の惡果憂ふべきもの無きに非ずと雖も過去

數年に亘る

農作豐穰の餘澤財界好況の趨勢等に依り未だ殆ど貿易上に惡影響を認むる程度に至らず更に貿易の内容を概觀するに輸移出にありては重石鑛、黑鉛、含金銀鑛、銅塊及銑鐵等の鑛産一齊減少に了りたれども米は内地に於ける需要の増大と大豆は輸移出市場に於ける滿洲産との競争に依り[illegible]牛、牛皮、魚類、肥料等孰れも増進を示し殊に鹹退の反面生絲の出廻を來せしこと新義州製紙工場の完成に依り『パルプ』の出廻を加へたること等著目すべきもの勘からず次に輸移入にありては

米價の暴騰

並に旱魃に因る前途食糧不足の懸念等に基づき滿洲雜穀就中粟の入荷激増し數年來顯著なる輸移出界の好況及新事業の勃興に伴なふ資銀の散布等に依り地方財力の向上は各種服料品の需要を喚起し商估の思惑取引の流行と相呼應して諸綿布、麻布等の入荷未曾有の盛況を呈し小麥粉、食鹽、石油等の生活用品乃至鐵條、石炭、其他の事業用品に至る迄多くは増進を告げたり

關税撤廢問題
近く建議せん

朝鮮商業會議所聯合會事務所に於ては財政の關係上九年度の豫算には全部實現せざるも内鮮關税撤廢の實現は近きにあるべしとて内鮮間には唯輸入税のみにても此際撤廢せんことを期し其の筋に請願方に付き鮮内各會議所に通牒を發し同意を求めたるに既に釜山、木浦、群山等の商業會議所よりは何れも賛成の旨返電ありたるを以て近く全部の回答を待ちて更に全鮮商業會議所聯合會を以て關係當局に建議すべしと

滿洲勸業進捗
株式公募近し

滿洲に於ける水田の經營並にその附帶事業を行ない在滿朝鮮人の安定を得せしめんとする資本金二千萬圓の滿洲勸業株式會社を内鮮人有力者により發起されし事は既報の如く三十日の本紙に詳報したるがその創立委員會は去る十日東京に開會（一）三月中に賛成人と其持株を決定する事（二）二月十日以後新聞に株式公募の廣告を發表し公募に着手する事（三）公募株數は二萬株（四）株金第一回の拂込みは三月十日とし創立總會は四月十日とする事其の他を決定引續き去る十九日午前漢城銀行に朝鮮側發起人全部參集創立事務の進捗につき協議を重ね着々その進捗を期する事となれり尚該會社に對しては關東廳よりは相當の拂込み金補給を又朝鮮總督府よりは管轄外にて補給不可能なれど諸種の便宜を與ふる事となれる由

電興事業進捗

平壤朝鮮電氣興業株式會社の發電室は本月十七日工事完成せしを以て直に五百キロ發電機二基並に附屬汽罐の据付に着手し三月中に試運轉に取りかゝる筈なり尚煉炭機械は過般來米國より續々神戸へ入荷中にして二月中には全部工場へ到着すべく前記發電機の運轉と共に四月には煉炭製造を開始し得る見込なりと

仁川期米保合

仁川期米は二十一日前場四十九圓五十三錢に寄附き高値七十五錢安値五十錢丁度を見せ七十一錢と引けたるが大阪期米安の響も左程に應へずさりとて大幅の飛び離れを演ずるにもあらず[illegible]

現物市場
廿二日許可か

資本金三百萬圓を以て出願中なる京城現物市場は當局の審議終了し愈々許可の指令を與ふる事に内定二十一日發起人總代町本藤次郎氏に對し内意を傳へたるもの如きにつきその正式許可は廿二日なるべし尚ほ市場の内容は既報の如く在鮮五十萬圓以上の株式會社の株式を建株とし所屬仲買人に賣買を仲介せしむべくその取引は三日以内と定められ居れりと

財界の爲に慶す
某銀行家談

永い間の問題たりし京城現物市場も許可は何れにしても朝鮮財界の爲めに慶せねばならぬその受渡し期間の短くその他株式市場としての機能の發揮に拘束多く素より遺憾の點少からずとはいへ斯起せる朝鮮各會社の株式に公定價格を附しその取引に安全と確實とを與ふることになるのであるから金融業者としては從來毛嫌ひせる地株の金融を安んじて附し得る事となり金融の疏通は資金の増加を意味し資力の膨脹は結局事業の振起に進み更に

財界の多忙

と殷賑を來すものと云ふべく實に沈衰せる朝鮮事業會社の株界に一道の光明を與へたるもの見てよい唯何事にも利弊の相伴ふ如く現物市場も一面に於ては投機心の助長を來さしめ多少面白からざる傾向を一般に生ずるかも知れぬがその點に於ては金融業者も市場の當局者も互に相戒め起り來る惡風は成るべく之れを矯めねばなるまい

市場の開業期
四月一日乎

京城現物市場は許可後直ちに發起人會を開き株式の割當その他を附議し一萬株を市場に公募するの手順を進むべく（プレミアムを附するや否やは未定）その割當拂込み並に創立總會の通知等開場までに相當の期日を見積らざるべからず一方その假定地たる東拓前廣場の建築は素より追て着手すべきにつき至急應急の建物を準備する事となる模樣なれど彼是の時日を見積る時結局その開業は四月一日頃ならんと觀測さる

東拓農監表彰

東拓にては京城支店所屬農監にして十箇年間の勤續者十七名に對し金品を賞與して表彰せり

朝郵新船購入

朝鮮郵船株式會社にては新航路擴張の計畫あり過般來新造船の購入五隻の外に[illegible]には內地[illegible]

砲兵會議參列

教育總監部にては來る二月十八日より十八日間全國野戰砲兵及び重砲兵團隊長を召集し種々會議を催す筈なるが野戰砲兵は野戰砲兵射擊學校に重砲兵は重砲兵射擊學校に入る筈にて朝鮮よりは第十九師團野砲兵第二十五聯隊長男爵龍野田記中佐又第二十師團よりは野砲第廿六聯隊大隊長相田秀來少佐又鎭海灣重砲兵大隊長相羽清次中佐參列すべし

愛婦軍隊送迎

愛國婦人會朝鮮本部にて來る二十四五、三十の三日間龍山驛を通過北進する第十三師團の各部隊に對し前例に依り京城府と聯合して歡迎送に努むる筈なるが同驛には本部役員出張し朝鮮繪葉書卷煙等の寄贈を爲す由なり

鮮銀社宅問題

朝鮮銀行の社宅は本年十月頃建築を見るべき筈なるが其構造は内部は無論木式なるも外部の構造を如何になすべきかは未定の由なるが木造及び煉瓦の價格上の値開きが甚だしからざるに煉瓦とせば暖房裝置を各戸共通に取付け得る便宜あり又一面には冬期に於ける社員の燃料の節約ともなる由[illegible]建築規定によりては朝鮮を南北に二分し北部は煉瓦建となす大邱に於ける如く之を認むるも其何れの地點を中心として二分するやに就ては尚研究の餘地ある如し

吉野氏危篤

元本社々長吉野太左衛門氏は東京上六番町四十二番地の自邸に於て病臥療養中なるが十九日危篤に陥れりとの報ありたり

○軍司令官慰問　宇都宮軍司令官は今回邸宅及び家財一切を燒失したる米人牧師ウエルダ氏慰問の爲二十一日朝古城副官を派遣したり

○軍司令官弔問　宇都宮軍司令官は此程長逝したる李根湘男の弔問の爲代理として二十日古城副官を同邸に派遣したり

○大東斯文會發會式　大東斯文會にては二十五日午後四時より仁寺洞明月館支店に於て發會式を擧行する由

新設會社

▲釜山穀物信託　今回釜山米穀商人石川眞平外三十一名の發起にて釜山穀物信託株式會社を創設し目下其筋に出願中なるが資本金は五十萬圓なりと

▲釜山商銀支店　釜山商業銀行にては二月中旬迄に釜山牧島方魚津に支店を開設する筈

▲中央信託會社　資本二十萬圓にて動産不動産の信託賃貸等を目的とせる中央信託株式會社は十九日附設立許可の指令ありたり

人事消息

○國民協會役員訂正　二十一日本紙に掲載せる國民協會の記事中總務未定會長閔元植總務金明濬の誤に付訂正す

○松尾編輯局長出張　本社松尾編輯局長は社用を帶びて二十一日夜發下關大阪東京各地へ往復三週間の豫定を以て出張せり

▲佐藤師團參謀　二十一日朝開城へ

▲寺尾喜六氏（滿鐵囑託工兵少佐）二十一日朝釜山に出張三十日頃歸城の豫定

▲佐藤三郎氏（京管局車輛長）同上

▲吉永師團參謀　二十一日發平壤地方に出張

▲馬場護隊氏（鎮南浦商議會頭）二十日夜退城

▲本木房吉氏（辯護士）出張中の處二十一日歸城

▲小池英勝氏（東拓本社囑託參事）廿二日朝南大門發赴任

▲久枝直喜氏（久枝病院長）内地出張中の處十八日歸城

▲美濃部鮮銀總裁　二十日夜東上の筈のところ二十一日夕七時二十分出發に變更

▲時實忠南知事　廿一日朝釜山上陸十時急行にて北行歸任（釜山特電）

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）同上十時急行にて北行（釜山特電）

▲尾崎次男氏（車輛技師兼工務課長）同上

▲島山小彌太氏（京城覆審法院長）同上十一時鮮滿直通列車にて北行（釜山特電）

寸塵

安徽督軍倪嗣冲君が死んだと云ふ事は北洋軍閥の爲には打擊と云はねばならぬ▲倪は段祺瑞を中心とする安徽派中の大立者であつて段下四天王の一人である▲徐樹錚が段祺瑞の密令に依つて非難する所は忽ち倪嗣冲、張作霖の手に依つて遂行せられたものだ▲彼の奉天督軍張作霖と共に[illegible]徐州會議の如き段の失脚後中央に對立を宣言して大總統黎元洪を脅かしたり▲天津會議の黑幕にあつて強硬な主戰主義を唱へたりしたのは皆徐樹錚と手を握つて御大段への忠勤振りを發揮したのであつた▲而し彼は始めから段下の者ではない寧ろ袁世凱に重用せられた者である▲處が袁が失脚すると張勳と深く結んで居たが張が失脚すると今度は段と結んで斷金の盟ひをした▲爾來段の背後を飾る大勢力としてなくてはならぬ大立者として今日迄安徽で大きな目玉を光らして居た▲兎に角彼は策士と云ふよりは實行家であつたが支那一流の官僚術にも大した手腕を持つて居たものだ▲彼は段と同郷の安徽省阜陽縣の産で今年何でも五十三四の働き盛りの筈だ▲尤も彼が死んで大した事はなからう馮國璋が死ぬと其の生前に勢力があつた丈けに影響を及ぼした事も馮の比ではなからう▲雪が降つた今年の京城は[illegible]雪氷の京城は今年は寒さの[illegible]實際十五年來此方の暖化した京城に斯ふ雪の晴れ姿が珍らしい雪景色である▲天道様が[illegible]から一掃して仕舞つて純白に浄めて仕舞ふ積りかも知らぬ▲雪は[illegible]の流布者や不逞鮮人なども其謀かも知れない▲雨は[illegible]が雪なら既望の佳い丈でも[illegible]が出來る▲春の花は重詰に[illegible]く秋の月は新酒に良くて冬の雪は湯豆腐に善く又四疊半に可▲上戸黨の得意思ふべしである

連絡船上陸客

同まさ子、小松信子、辰巳健[illegible]戸義夫、和田平馬、吉田武男[illegible]原正一、淺川禹吉、石田彌、高田[illegible]吾太郎、金貝佐三郎、松尾春吉[illegible]

[illegible]

別に二月[illegible]低氣壓發生するを以て中部以北地方は陰曇なる所あり[illegible]の地方は快晴の[illegible]各地の天候[illegible]

百七十四萬四千五百四十四圓[illegible]▲八年中の輸移出入額は一億五千[illegible]計一千九百七十二萬七百五十圓四百八十三萬八千百二十六圓の[illegible]計にして前年に比すれば五千[illegible]

▲米　は六百七萬八千百八十二圓にして前年同月の四百三十四萬八千九百八十六圓に對比すれ[illegible]みなるも共に[illegible]を充たする[illegible]能加ふるに內地農家の經濟[illegible]なる爲め先高を豫想し[illegible]措くの

▲大豆　は本年西鮮地方の旱害[illegible]額も二百十九萬二千百零七圓を昂上せしを以て輸移出額は[illegible]め[illegible]を超過し輸移出額十七萬三千[illegible]萬七千圓は何れも前期の倍格を突破し前年同月に比すれば[illegible]所の活牛收容能力に關係するもの[illegible]にして自然輸移出額を增加せしめ又一方當業者の就[illegible]經濟上多大なる便利を得に至るべし（釜山）

朝鮮の石炭問題（五）

川崎繁太郎

朝鮮輸移入炭の主要なるものに就ては其の大勢を叙述したり之れに依るときは九州炭は其の差額內地需用の割合に伴なはず、撫順炭も亦社用及び地質炭の增加甚だしく供給の不足益々大なるべく、たゞ開平炭及び露領炭は餘裕の存するものを以て鮮に於ける石炭供給の不足に暫く一部之等の石炭を以て補充せざるを得ず、又將來山東炭も亦注意の價値あるものなるべし

天賦の埋藏炭量

石炭問題を議せんとするものにして唯其消費と供給とのみを見て其地に於ける天賦の石炭如何を忽諸に付せんか其の論議は徒らに砂上に築きし樓閣に異ならず從來朝鮮の石炭を論ずるもの概ね之れに類し徒らに將來を悲觀するを見る只農商務省地質調査所長井上博士は大正二年朝鮮に於ける石炭を論述して朝鮮の石炭埋藏額は次第に增加し其輸移入は數年若くは數十年間に止まるべしと結べるは其天賦の炭量を考察して到達したる者なり以下朝鮮に於ける天賦の石炭に就き從來專門家の調査せるところを論評し、以て朝鮮石炭問題の鍵鑰を掌握せんとす。

朝鮮の石炭調査

炭層調査は乃ち炭田の地質調査に外ならず、嘗て朝鮮の地質を踏査し其の結果を發表したるもの、內多少炭層を記述したる專門家は明治十六年及び十七年に於て八道を踏査したる獨人ガルル、ゴッチエ、明治廿八年に於ける露人ルペンツオーフ、同年以後明治卅年に亘れる西和田久學、明治卅三年以後同卅五年に亘れる小藤博士明治卅七年末より同卅九年初に亘り全道を踏査せる農商務省技術官の一行明治三十八年以降明治四十三年に至る韓國農商務工部鑛床調査員巨智部田村の兩氏併合後朝鮮總督府農商工部鑛務課平壤鑛業所及內地の諸斯學家等なり大正七年以降は朝鮮總督府地質調査所に於て調査し之を發表せるものあり。

明治四十年以前の調査に依れるものにして朝鮮炭田に關する既知の事項は予之れを編纂して朝鮮に於る石炭と題し明治四十五年三月朝鮮總督府鑛床調査要報第一冊の一に既述したり、而して其後に於る調査材料を加へ大正二年十二月農商務省地質調査所長井上博士は朝鮮に於ける石炭と題し同所報告書に之れを發表するところあり明治四十四年予の發表せる朝鮮に於る石炭には其結論として左の卑見を述たり。

朝鮮に於る褐炭は品質概ね良好ならず、且炭田は小區域をなして散在するを以て主こして半島內の需用に供するに過ぎざるべし、然れども多くは海岸に近く交通運搬至便なる位置を占め其の四近は人口比較的稠密且新炭鑛ならざるを以て品質劣等なるものと雖も亦採掘せらるゝに至るべし無煙炭（平壤）は之に反し品質良好なれども粉炭なるを以て平壤鑛業所に於てするが如く之れを煉炭こし又粘結炭と配合して骸炭を製する等其の利用多く、加之平南其他の地方に發見せらるゝもの尠からざるを以て朝鮮に於ける石炭鑛業は無煙炭に望みを囑すべきものなり。

大正二年井上博士の發表せる朝鮮に於ける石炭には朝鮮埋藏量を八千四十五萬噸深さ一千尺以內こ概算し其結論に於て曰く朝鮮は現今と同じく將來に於ても少くとも數年若くは數十年間は石炭の輸入者たるべしと論ぜり。

大正二年以降の炭田調査は稍著しき進捗を遂げ、其の炭量概算及び炭質に於て闡明せられたるもの少からず、即ち平壤炭田の探鑛及び試錐は其の鑛量の多大なるを確め、鑛床調査は略平壤炭田に譲らざる順川炭田を發見し、尚此の他三涉炭田の世に紹介せられたるあり而て朝鮮無煙炭の頗る豐富なるを知るに至れり。褐炭に就いては會寧、慶源、慶興、穩城等圖們江岸の諸炭田及び明川炭田等の新に發見さるゝあり之等の石炭の埋藏に關する知識は往日に比し著しく增進し、朝鮮に於ける炭量の推測も亦之に伴なふて增加せり

大豆輸出激增
既に四百萬枚

當地豆粕市價は內地需要期を控へ農家の購買力旺盛の爲め其後益々好況にて昨冬來註文の殺到夥しく內地向き輸出激增を告ぐるに前の節に一月分こして內地に輸出せらるべきものは目下[illegible]力三百萬枚、古河の一百萬枚の大宗筋のみにても四百萬枚に及び其他を合する時は四百萬枚を超す實に近年になき盛況こ云ふべきなるが而して此勢ひを以てするに於ては內地豆粕は遂から需給量以上に達すべく價格も此邊が絕頂ならんとの豫想にて運期者は現況に比し軟調の傾向なり（大連）

鮮滿片々

釜山の遊興稅

釜山府九年度豫算も目下編成準備中であるが九年度に於ては府こしては水道道路學校病院其他諸項目に關して改善擴張を要すべき性質のもの多く且つ諸般の物價勞銀は日を逐うて昂上し經常費に於ても昨年度に比し幾分の增額を免れず旁其財源に就いては府當局に於ても苦心中なるが一部鮮人間に於て在留內地人より同地にて賦稅少額なるを云爲する向あるを以て此の方面にも幾分の改正に依り增收を計ると共に新財源として種々物色中なるが最も確實に起稅さるべしと豫定されつゝあるは遊興稅なるべしと云ふ（釜山）

大豆出廻不振

大豆出廻りは例年の昨今は相當賑盛を來し少くとも每日二百車以上の着車を見る可に本年は未だ每日の着車數百二三十車內外にして、廻着旺盛の域に達せず、その大部分は油房の消化に充てられ內地其他に對する輸出は殆ご云ふに足らざる狀態にあり、而して之が原因こしては種々あるべきも先づ第一に昨年の旱魃に依る收穫減及び銀價の不動常なきに依る思惑、其他大豆混合保管制に對する趣旨未だ一般に徹底せざる等に依るなるべし、而して舊歲末接近こ共に漸次出廻り附加を來たすべしこ一般に觀測され居れり（大連）

埠頭堆貨減退

滿洲特產物は愈々輸出盛季に入れるが現下船腹頗る餘裕を生じ特產積取り船腹の出入漸く多きを加へ來れるが就中最も多くの輸出を見つゝあるは豆粕なり一方奧地よりの特產埠頭廻着今尙ほ捗々しからず依つて大連埠頭堆貨減退一方にあり今最近の調査に依る埠頭堆貨數を見るに大豆九萬五百四十九噸、豆油一萬一千八百三十五噸、豆粕十二萬一千〇五十二噸、高粱三千四百八十九噸にして大豆の如き十月初旬に比すれば實に十萬噸餘の大減退なりこ（大連）

大連手形交換高

昨十二月中の大連組合銀行の手形交換高は金勘定にて三萬八千四百三十七枚金額二億一千六百四十三萬二千四百六十四圓六十七錢にして之を十一月に比すに枚數に於いては三千九百三十三枚の增加なるも、金額に於て六百〇九萬八千七百十八圓九十九錢の減少を示せり、而して持出手形に於ては五千三百三十七萬六千二百七十五圓七十四錢にして十一月に比せば五百三十六萬八千四百十三圓の減少を來せるも鈔勘定に於ては枚數八千三百五十八枚什拂額四千八百八十二萬四千四百五十圓三十九錢にして十一月に比し枚數に於ては一千九百五十六枚を增加し金額に於いて五百〇六萬五千百二十六圓十四錢の增加を示せり、持出手形は一千三百四十一萬八千七百三圓三十九錢にして十一月に比し百三十萬八千〇十一圓の減退を示せり（大連）

南浦有志大會

鎭南浦市民大會は去る十七日午後二時商業會議所樓上に開催鎭南浦水道擴張速成築港完成平元鐵道急速敷設の三大事業に關し右三大事業期成同盟會々則を議定し會長に西欣太郎氏林田敬氏を推し馬場商議會頭の演說及び決議文の朗讀あり熱心なる市民の喝采裡に滿場の決議を見當路顯官及び名士に宣語の件を決議したり（鎭南浦）

信託會社計畫

釜山穀物市場を根據こして組織せらるべき釜山信託取引所株式會社は資本金一百萬圓（一株五十圓、二萬株）にして四分一即ち十二圓五十錢拂込みにて直ちに取引を開始すべく定欵、發起人等夫々準備進捗中の處願書類は悉く纏まりたるに依り木下方三氏二十日願書を携帶して出願せり因に本信託會社は市場員六十五名の先物買取組に對して十こして融通を與ふるの機關こして本會社の設立こ共に市場の延べ取引に對しては屆竟なる便益を見るに至らん（釜山）

所得稅調査

關東廳にては今回新に銀行會社に對し所得稅を賦課すべく目下之が施行上に關する調査中なるがその內容の詳細は未だ知るを得ざるも稅率の如きも諸種事情を異にする植民地の事なれば內地の夫こは異同あるべく又例の銀行會社の重役等の取得に對し課稅するや否やに就いては一般に興味を以て注目されつゝあり因に大連に於ける會社數は株式會社二百六十三、同支店十三、合資會社百五十四、同支店十三、合名會社四十七、外國會社支店四あり

管理局通信收入
四十五萬餘圓

關東廳通信管理局昨十二月の通信收入は合計四十五萬二千四百九十一圓にして七年同月に比し十萬八百八十餘圓の增進なり、而して之を類別すれば切手三十四萬七百十六圓、電信及電話十萬九千二百七十六圓郵便一千三百八十七圓なり、因に八年四月より同十二月迄の同局全收入は三百十六萬六千二百三十圓にして七年の同期間に比し六十七萬八百六十八圓の增加を來たせりこ（大連）

客月濟南金融

爲替相場は一高一低を免れざりしこ雖も大體上漸落の步調を辿り月初二百四十五圓なりしも月末TTは二百二十六圓を以て越年せり而して右低落は前月に於ける銀高の爲め南京造幣局に於て急遽銀貨の鑄造を增加するに決せるこ米國大藏省が在上海米國三銀行に對し上海渡し一オンス一弗三十五仙にて巨額の銀を交付すべく發せるこに基因するもの大なる可し斯の如く銀價は漸く低落に傾きしこ雖も倚ほ著しき高値たるや勿論にして輸出業者は依然こして採算に困難なるに一方土民は舊節季に間のある事こて資金の需要痛切ならず他方前月中に於て輸出業者が銀高及物價高の如何に拘らず米國への約定品の引渡しに迫られ山東輸出品の大宗たる落花生米及び落花生油の買付に急なりしを見て一般土產品の騰貴を見越しこが賣惜みを爲すに至りし より物價漸騰取引從つて閑散なるを免れず次に輸入品に於ても日貨排斥の他士民が土產品を賣惜める結果彼等に購買資金なく且つ濟南市場に出で之を求むる機會少き爲め貿易不振に陷れり行の如く輸出入共に閑散なりしに依り一般金融市場は例年に比し甚だしき緩漫裡に越年せざるを得ざりき

滿鐵武道寒稽古

滿鐵武道部にては去る六日から二十六日まで三週間に亘り大連露西亞町道場に於て寒稽古を行ひ居れるが每朝六時より始め出席者は柔劍兩部員凡そ四百名に上り何れも凛冽たる稽古を見せ開始以來一人の落伍者もなく極めて好成績である二十六日の最終日には皆勤者に賞狀賞品を授與して表彰すこ（大連）

大阪財界便り

▲月下物價の昂騰は一般に社會周知の事實にして之獨り我國に於て現出せるに非ず世界的に物價騰貴の事實は其原因の種々あらんも要するに一般的貨物の供給不足なるこ且つは貨幣の增加にありて過度の物價昂騰は經濟界に惡影響を及ぼし他面には一般社會生活を不安定ならしむれば之れが調節は、頗る緊要事なるべし

▲物價調節策は貨物の生產を增[illegible]んにし或は交易狀況を鑒へるこ共に通貨の收縮を計るの外なきが政府が物價調節を講じ居れるも其效果的なるは有効なる結果を見る能はずして物價は益々昂騰せんこする狀態の漸次切迫し來りて經濟界に於る憂ふべき結果を見るに至らんか戒心を要す

▲本邦に於る物價の昂騰は逐に貿易關係の逆調に向かはんこするの趨勢を呈し一國の物價標準が他國の物價標準より高きは其國の貿易は輸入獨り盛こなりて輸出の不振を來す又一國の物價標準が他國の物價標準低き時は輸出旺盛なるに反し輸入の減退を當然の歸結こ云はざるを得ず

田家早梅　高野竹隱

疎籬接地留殘雪。宿麥遙根生暖煙。笑與田翁傾消息。和平第一入新年。

[illegible]上日間過泥田父。東家西舍迷行止。報道寒梅發幾枝。

東風第一遲紛譁。先至南村野老家。兒女青詩因盡賞。新衣[illegible]

似被城中客苦催。前村竹外一枝開。老農猶占春早。結子更[illegible]

休笑田家不預開。客爲離[illegible]風雪來。[illegible]有梅。老翁欲茅瀟灑。頗得春光[illegible]

最後の勝利が健康にありこすれば（そしてそれは事實です）衛生上の必需品こして公認を博した
品質本位　花王石鹸
が貴下の勝利に重要な役を演ずる一要素たるこは亦疑を容れぬ事實です

花王石鹸製造元東京馬喰町　長瀨商會
花王石鹸關西代理店大阪安土町　大崎組商會

悪性感冒に　ハカリ印のヘブリン丸
を用ふれば直ちに解熱し惡寒を去り全治する事は既に本劑を用ひられたる人々の實驗せらるゝ所なり
本舖　大阪　合資會社　參天堂藥房

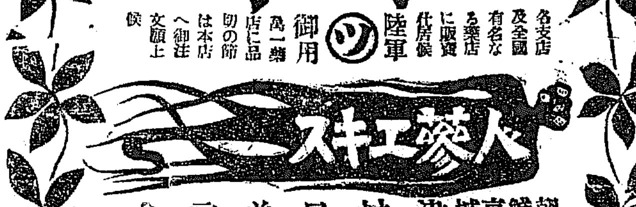
ハカリにかけた樣　責任分量で　立派にきく

永年困しむ人は不思議によくきく良藥有り葉書で申込ば詳しく知せ升
東京市麴町區飯田町六の一　天壽堂

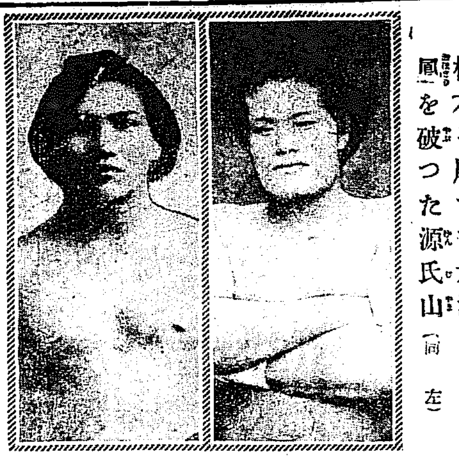
鶉卵配達開始
京城本町一丁目電話五四二番　守山鶉飼育所

下山博士　藥學博士　朝比奈博士　岩川博士　田中博士　山田博士
淋病新藥ツヨール
殺菌力を有し且つ絕對に胃腸を害せず
理想的內服治淋劑と確定せる權威ある優秀新藥
實驗の結果
實驗說明書附呈
百粒入　壹圓九十錢　五十粒入　壹圓　參十粒入　六十五錢
東京日本橋川瀨石町　製造元　ツヨール商會
大阪東區道修町三丁目　發賣元　田邊五兵衛　振替大阪八六七番

內科胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七・九二〇九



人蔘エキス
名支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候
陸軍御用
萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候
朝鮮京城本町　津村兄弟商會
電話二四八〇番　電話一八七〇番
振替京城三五一一番　電略（ツ）又は（ツム）



栃木を屠つた大潮（向つて右）
鳳を破つた源氏山（同左）

東京大相撲春場所（五日目）

東京大相撲春場所五日目（廿日）の主なる勝負左の如し（東京特電）

千鞍匝若錦鶴光山綾増能大太蓬東黙迎駒阿
勝葉ケ　〃常ケ　代ノ刀ノ　瀬　蘇
嶽寄り切り東　嶽打つ遣り武　錦小手投げ筑　陸打つ遣り大　洋押し出し八　海押し切り大　鳳押し切り鬼　凰突き出し朝　錦叩き込み敷　錦叩き込み高　鶴押し切り神　高捻り落し若　光押し切り八　矢寄り倒し鶴　雲押し切り友　川上手投げ御　鉾叩き込み小　泉押し倒し琴　嶽渡し込み綾
負　藏後蛇重　鹿見　ノ　葉甲ケノ西牛ケ
川潟川山高岬毛藤島山力山山濱浦山田浦川

大ノ里　渡し込み　淸瀨川
大門ノ岩　押し倒し　白岩
常ノ花　突き倒し　矢筈山
對馬洋　小手投げ　若湊
大潮　渡し込み　栃木山
源氏山　寄り倒し　鳳
土州山　上手投げ　岩木山
釋迦ケ嶽　寄り倒し　大鳴門
兩國　叩き込み　射水川
福柳　寄り倒し　小松山
紅葉川　寄り倒し　宮城山
三杉磯　預り　宇都宮
千葉崎　寄り倒し　九州山
大錦　寄り出し　大戸平
（打出し六時半）

はの中●若葉山●に大の高は若左双にて押さんこし捻り落して高の勝▲太刀光に八甲山は太刀双差鋭く押して勝▲蓬の矢に祇ケ嶽は蓬二本差し寄り倒して勝▲友の浦に東雲は友右差し寄り東雲左差し右筈に押し切つて東雲の勝▲黒瀨川に御西山は左四ツ西寄り黒瀨土俵際にて上手投げを打ち黒瀨の勝▲逆鉾に小牛田山は互に突き合ひ叩き込んで逆の勝▲駒泉に琴ケ浦は駒頭を攻め押し倒して駒の勝▲阿蘇ケ嶽に綾川は左四ツ阿蘇頭を敵の胸につけて寄れ掛り土俵際に渡し込んで勝

▲大の里に淸瀨川は烈しく突合ひ淸瀨屢々引き落しを見せしも大ノよく殘し右を差して疾風の如く押し行き右外框擬し込んで大ノの勝

▲源氏山に鳳は鳳敵の右を呼び込み小手を振り源氏山手を預け寄り倒して源氏の勝▲大門岩に白岩は左四つ大門上手投を打ち白下手投げ互に寄り合ひ押し倒して大門の勝▲常の花に矢筈山は常無造作に突き倒して勝は呆氣なし▲對馬洋に若湊は對馬敵の左を呼び込み小手投げ打つて勝

●●●大潮に栃木山●●● は立上がるや潮左に敵の右を押へ右筈にて押し栃木左に潮の右手を押へ左を撓めつゝ突き放さんこするを潮隙さず引落しを試み栃木泳いで立直らんこするを潮素早く左當て右外枠渡し込んで大潮の勝は滿場總立の大喝采

●中入後●

▲土州山に岩木山は突き合ひ右四ツ岩木寄り土州双差こなり上手投げにて土州の勝▲釋迦ケ嶽に大鳴門は突合ひ右四ツ釋迦寄り倒して勝▲兩國に射水川は兩敵の右を呼び込み小手を振り殘るを叩き込んで勝▲福柳に小松は右四ツ福二度上手投げを打ち足癖に寄り倒して福の勝ち▲紅葉川に宮城山は突き合ひ紅葉敵の泳ぐ際ぐさ寄り倒して紅葉の勝ち▲三杉磯に宇都宮は左外掛けに行き三杉足を開き下手投を打ち宇都上手右四つ三杉吊らんこし宇都投返し三杉揚がりしも物言ひつき預かりとなる[illegible]▲千葉ケ崎に九州山は九州押し千葉落さんこし九州泳ぎ直らんこし千葉右を差し九州差手を拔て廻り込まんこし千葉腕を預け寄り倒して千葉の勝▲大錦に大戸平は錦右差し一散に寄り土俵際にて腹にて彈き出して勝（打出し六時半）

六日目取組

鳳　常の花（本社賞）
白岩　大錦
中入後
射水川　友ノ浦（琴ケ浦　釋迦ケ嶽）
阿蘇ケ嶽　逆鉾（小松山　宮城山）（東雲　宇都宮）
三杉磯（本社賞）
源氏山（本社賞）
大潮　對馬洋（本社賞）
（紅葉川　栃木山）
耶馬嵐　八甲山（大ノ高　高ノ山）土州山　若葉山
小牛田山　御西山（黑瀨川　兩國）藤ノ川　岩木山
矢筈山　福柳（大鳴門　駒泉）大戸平　逢ノ矢
若湊　大ノ里（淸瀨川　綾瀨川）千葉崎　大門岩

鐵道院用炭價 前年を同値か

はしめつゝあり即ち昨秋以來[illegible]騰を始め諸材料は非常の[illegible]ば品不足の上に背炭は思も角[illegible]得べからざるに於いては炭價の[illegible]利途に對し低落を豫想するここ[illegible]し新界は甚大なる注目を拂つ[illegible]あり昨年度の院炭は撫順契約[illegible]始せざる其資撤に耐へざるを理由こして前年度契約炭價の約一[illegible]價は昨年度契約當時に比しては[illegible]くもあらざるべし即ち昨今の炭[illegible]如くなれば其契約値段は那邊に[illegible]要すべきか今迎に逆賭すべか[illegible]求めに於けるものこ殆んご同値[illegible]ならずしに想到し更に昨今の炭價[illegible]時に比して一層騰勢にあ[illegible]々無かるべしこ觀測されつゝあり（東京）

酒と煙草の 税金引上で府の財源を いくら酒税は上つても 酒の値は上るまい

大正九年度總督府豫算は非常な膨脹で從つて其財源には總督府當局も尠からぬ苦心をして來た樣である地租所徵等の

直接税 に依つて歳入の増加を計る事は一般人民の負擔を徒らに重からしむるものであつてさてこそ豫算中に見た如く間接税の酒こ煙草の税金を引上げて五百萬圓近くの收入を捻り出す事になつたのである、そしてそれは此四月から實施される筈で目下折角總督府で制令の發布中であるので何税が何程上がるかは未決の問題であるが大體

酒税は 醸類に依つて二割五分から七割見當の增税こなる筈で淸酒に重く朝鮮濁酒藥酒等は輕微な引上に止まるであらう氣の早い連中は酒の税金が上れば又酒の値が上る樣に早斷するが現在朝鮮の酒類販賣状況を見るこ堅がましい酒屋もさうは酒の値上が出來ない事になつて居る何故なれば現在朝鮮での酒の値は內地に比例して上つて行つて居るつまり朝鮮では何等

値上の 理由も無きに拘らず內地が税金其他の關係で値上をしたこ云つては朝鮮でも直ぐ値上げを行つて酒屋こしては甚[illegible]利を食つて居たのであるそこで朝鮮で今税金を上げられたからこ云つて直ちに之を消費者に轉嫁し內地以上に酒の値を上げる事は多少酒に戻り税まで取つて居る酒屋の爲し能はざる處であるつまり今度の增税は

酒屋の 儲け過ぎて居た分を政府で取り上げたこ云ふ恰好になつてゐるそれなれば酒屋が馬鹿を見るこいふこさうでもない白い中で來酒は税が高くなるこ資金の回收が容易になる高い税金がかゝつて居るからこいふので拂ふ方でも眞面目に支拂をするさうである數に此の前大正五年酒税五割の徵收を行つた際も酒屋の方から

總督府 へ二十圓にして貰ひ度いこ願みに來た事もある位で酒屋も税金の上がる事に就て苦情はいはぬさうである

仁川取引所疑獄事件 結審は三月頃

去歳五月十四日仁川取引所の仲田社長田取締役其他數名の理事及び仲買商が突如拘引されて事件は一擧擴大し京城地方法院仁川支廳の大活動があつたのは未だ讀者の記憶さるゝ所であらう此取引所事件は爾後仁川支廳小野判事の擔當こして審理々々繼續しつゝあるが廿日迄に[illegible]事が同事件打合せの爲下仁した由である某法官は『事件が愈々豫審を終るのは二月末か三月であらうが何しろ[illegible]等仁川第一流の實業家が臨されてゐるので或は大阪の岩下淸周氏の北濱銀行事件よりも大きな事件であらう』こ語つてゐた

流行性感冒の 發源地は支那か 或は米國に發して東西兩洋へか

マンチエスターに於ける組織的調査

其の筋發表の流行性感冒に關する報告書に依れば筆者は發源地に遡りて是れを調べて曰く流行性感冒は一千九百十八年三月五日先づ支那及び日本に流行したるものにして

其の發源地 は支那に在るもの如く夫より米國を經て歐羅巴に入りしものなるか若くば米國に發して東西兩洋に傳播したるものならん英國に於ては艦隊及び軍隊が眞先に襲はれ兵士以外初めて其患者を出だしたるはグラスゴーにして一千九百十八年五月なり其年の秋に入りポーツマス、サウザンプトン及びリバープール等の重要港に流行したり然れども右は輕症なりしが

英國內地の 諸都市は其の後凄は大いに猛烈こなり又其の後マンチエスターにて組織的調査を行ひたるに夏季には十五歳より四十五歳迄の者最も多く侵され冬季には男子は二歳より十五歳迄女子一歳より四十五歳迄にして病症の程度は必ずしも一樣ならざるものゝ如く此の療法も亦一樣ならず全く正反對なる場合もあり各種の系統に屬する病菌あるもの如く或は又場合毎に一々異る病症を呈するが如き

特殊の病菌 を存するもの何れにしても適當なる療法なきが如しこ（倫敦電報）

大連港內の 流氷 船舶の危險

頃來の寒氣こ猛烈なる風力にて大連露西亞町埠頭沿岸一帶に於ける水結は氷堤こなりて港內に流入し爲に船舶の危險を感ずる事甚しく十六日の如き大連汽船の龍平丸は入港埠頭第八區に繋留中流氷を除んが爲め誤て船首を岸壁に衝突せしめたる等の事ありて危險甚だし依つて埠頭事務所に於ても目下應急施設考案中なり然し十七日頃より氣溫風力共に和らぎ入港船舶は危險を感ぜざるに至れり（大連）

來れ、健兒諸君!! 全鮮スケート競技大會

期日　一月廿五日
場所　漢江人道橋附近
資格　隨意（一人二種以內）
申込　往復葉書に出場種目を記入し住所氏名年齡職業を明記し一月廿二日迄に本社運動係宛に申込まるべし

競技種類　滑走五周、十周、二十周、スプーン、提灯、變裝、繩跳、旗取、競技拾ひ、背進、二人一組、スリーカーブ、S字形

主催　京城日報社

古窯の味を傳へた朝鮮の新高麗燒

去る十五日から心齋橋大丸の階上で朝鮮高麗燒の陳列會が開かれて居るその作品は花器、茶器、香爐、文房具、酒器、置物などで總數二百餘點ある

その作風には三島手、刷毛目手、雲鶴手などいろ〳〵ある、其の品位は却々に佳く瓷窯ながらよく古高麗の窯法を模し得て此の遺憾がない

が手綺麗過ぎる點はあるが併し欲を云へば全體にその上がり古高麗の味は得る事が出來る夫れにつて京燒などの陶磁器に比しその價の廉な事は驚くばかりで斯うした諸點から考へるこふんだくに燒かれる京燒の許きぬ品などは其價の高きを誇るのみで一向に味ひが悲いやうだこ

一萬圓拐帶 犯人京城にて逮捕さる

五日釜山第一棧橋附近に碇泊中の下關日本水產株式會社所屬丹敷盛丸船員二名が一萬圓を拐帶逃走したる事件は既報の如くなるが犯人の片割れ本浦府溫羅洞八十三番地船乘業朴仁守（二十三）は巧に其の筋の目を忍びて京城に入り込み十八日夜新町附近を徘徊中本町署の手に逮捕さる

京阪合併大歌舞伎
中村吉十郎一座
當月十五日より 午後四時開演 於黃金館
本券切拔持參の方に限り左記の通り割引致します
京日愛讀者慰安割引券 一枚二人共通（小供各等半額）
入場料 特等 二圓五十錢 一等 一圓五十錢 二等 七十錢 三等 四十錢
割引 一圓二十錢 七十錢 四十錢 二十錢
京城日報社

結婚說のある 千種女史 三國一の聟殿は木谷蓬吟氏

美人畫家の吉岡千種女史はマダ大阪に在住して居た頃から屢々結婚說を傳へられて居たその一例を擧げるこ洋畫家の田久君こ一緒になるこいふ說の如きまでこの噂なぎは可なり信用の置けるものこして消息通間に信じられて居た

トコロ が今度また木谷蓬吟氏こ夫婦になるこいふ說が流布されて居る木谷蓬吟氏は近松研究者こして知られて居る大阪の文人で四十二の今日まで獨身な處から先年友人連の肝煎で千種女史こは同じ女流畫家で而して俳人の生田花朝女史に配偶しやうこ奔走したものもあつた花朝女史の嚴父

南水翁 は大阪に古い俳人で木谷氏こも相識の處からこれならば徳に花朝女史にこつても三國一の聟命であらうこいふ考へで交渉をしたが『未だ花朝は子供で』こ三十近い娘を捉へて親の有難さ斯歷事で

その儘 おヂヤンになつて了つたのであつたが今度千種女史この風說は或は事實かも知れない千種女史は本年二十六歳の姥櫻ではあるが天性の麗質であるから二十二三位にしか見らない先づ聟殿こしては蓬田久君よりは一際の

好配偶 かも知れない噂によるこ近々京都で擧式する運びになつて居るこいふ何にしてもおめでたい話である

邦人慘殺さる 妻も亦た重傷 鳳凰城縣椿事

鳳凰城縣鳳凰王南在住長崎縣人內田龍十氏は十八日夜何者かに襲撃され同人妻某も亦た命危篤に瀕する重傷を受けたる旨安東領事館より三名の警官急行せるが原因は尚不明なり（安東縣特電）

緩衝機（投書歡迎）

年賀郵便の配達に就て　十三道生

年賀郵便の非常な増加の爲め是迄の年賀郵便物の[illegible]さは思ふが今年の年賀郵便物配達の模樣は此れ同情に堪へぬ事である横着な[illegible]即ち特別扱ひの年賀郵便物が一日附のスタンプの儘拾二日を過ぎても今日迄も尚毎日少々宛配達されて居るのはどうしたものか是れは是非一兩年前迄の如く元日の朝纏めて配達せねば折角早々の年賀も甚だ間が拔けて不都合では無いか勿論夫れには非常の努力が必要であらうが學生の手傳もある事であり年末に十分仕分けて置けば少なくも三ヶ日中位に配達出來ぬ筈は無い然るに斯く松の內も過ぐる頃迄一月一日附の年賀郵便を配達して居るのは最早怠慢の譏は免れまい、また年賀郵便だけなら好いが今朝も舊臘三十一日附の死亡通知狀而かも京城一日のスタンプあるものが十二日に配達せられ弔電も會葬も間に合はね有樣である定めて僕以外にも此樣なのが多數であらうこ思ふ明年よりは是非今少し奮發して斯の如き不都合の無い樣にしてもらひたい

乳の出る薬 タツプリ出る薬

御產すればお乳が出るに定まつて居るに世の中に乳が出ないで困る方が多い、又は乳が不足勝で難儀して居られる方が多い際にコレカラ寒さにつれて牛乳ミルクの加減ひよらぬ困難にて又腹取るく赤兒の胃腸を損め可愛い子を育てる兩親の身にこつてこれ程困る事がありませう今度[illegible]發見した飲み易くして不思議に出る藥（乳の母）を[illegible]乳の偽に心配して居られる方は一寸早く左記へ『乳の母』の說明書を送れこハガキに（乳の母說明書を送れ）こ書いて御申しになれば直樣御送り致します
東京市下谷區東黑門町電停前
大阪市西區阿波座上通[illegible]
乳の母發行所 いづみや藥房

責任 肺病肋膜炎貴藥
[illegible]
製造元 長崎 小ヶ倉 本願寺說教所

鐵工元から 美術的優秀品
[illegible]
命知らず實用品
[illegible]

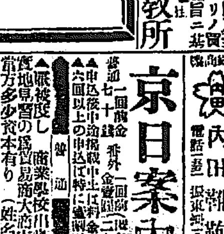
三點一組 十五圓
會長勝織物

最新刊
勞働普通選擧　五五
美の廢墟に起て　高須梅溪　一、〇四
現代の社會的進步　エフ、ユーヌツ　三二〇
わぐねる歌劇集　中島淸　三三〇
動物學講話　谷津直秀　二、〇二
亞米利加講話　川副佳一郎　二、〇二
結婚まで　德田秋聲　一、〇〇
日蓮主義の新研究　里見岸雄　三、八五
白孔雀（譯詩集）　西條八十　二、二〇
職工店員勞働常識　長澤　四四
大阪屋號　京城本町一丁目

肥料
在庫豐富
▲大豆粕　▲過燐酸　▲硫安　▲木灰
▲石灰窒素　▲魚腸肥料　▲骨粉油粕
品質優秀
各種
京城南大門通
戸田春藏本店
電話長三八六・三〇六五
振替京城三七五番
農蠶具製叺繩機

今般製靴原料及び靴工賃昂騰を來し候に付當組合員協議の上左の通り定價改正致し候間不惡御了承の上倍舊御用命之程伏て奉悃願候也
改正値段
禮式深ゴム靴　二十四圓より三十圓迄
禮式短靴　二十圓より二十五圓迄
キツト長靴　四十五圓より七拾圓迄
ボツクス長靴　三十圓より五十圓迄
キツト深ゴム、編上靴　二十圓より二十五圓迄
キツト短靴　十七圓より二十二圓迄
ボツクス深ゴム、編上靴　十六圓より二十圓迄
ボツクス短靴　十三圓より十七圓迄
キツトスリツパ　十五圓より十八圓迄
ボツクススリツパ　十二圓より十五圓迄
修繕料　二圓五十錢より四圓迄
ゴム打　一圓五十錢以上
右之通り相定候也
大正九年一月十三日
京城南大門通一丁目（北村皮革店內）
京城靴商組合事務所（電話七番）

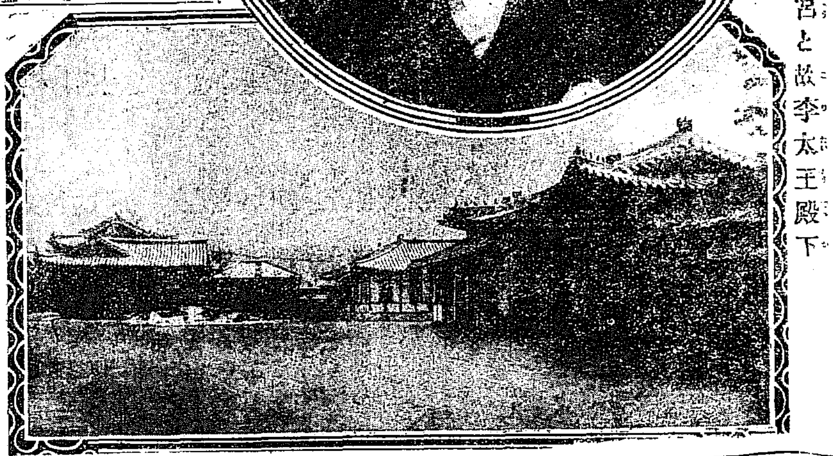
マツダ電球定價改正廣告
諸材料工賃等異常の騰貴を來したる爲め不得止本年一月十五日以降マツダ電球の定價を改正貳割方値上致候、右謹告候也
大正九年一月
神奈川縣川崎町
東京電氣株式會社

御召工合良き靴

內田靴鋪店

京日案內
電話讓る
古本高價買入 文光堂書店
乳母求む
女中壹名入用 藤田
乳母入用
外勤社員招聘
店員採用 德田商會
公債、勸業債券
醫師看護婦 小林病院
朝鮮郵船株讓度
助產婦募集 京城婦人病院

（右端欄・前頁より續く）
…[illegible]…價を[illegible]…に到りては…
…是等[illegible]の斷行はれ炭價は[illegible]るべきが漸く夏枯期に入るこ[illegible]年下期より低落に歸するにあら[illegible]も云ふべき鐵道用炭の契約期漸[illegible]きを加ふべし此點に於て昨今[illegible]
…需要者をして其の前途に惑[illegible]時に一般物價の漸く低落に向ふ[illegible]す、やこの觀測の必ずしも[illegible]く接近せることゝて其成行に關[illegible]鐵道院側は未だ正式の商談を開[illegible]容易に成立[illegible]
…知れず更に二十二日の李太王殿下の御服喪開けを待つて確然たる發表あるやに推測せらる。

御一年祭御親祭の德壽宮と故李太王殿下



孝德殿御一年祭
明二十二日の御儀次第

二十二日午前十時三十分より執り行はせらるべき故李太王殿下御一年祭の御儀次第左の如し

當日殿司は殿の內外を灑掃し拜位及手洗を設く

時刻前殿司は襍幄を整へ捌し又饌(祝帛、璞幣、香燭、餅饌)を陳設することを式の如くす

次に執禮及諸執事位に就く
次に參列諸員位に就く
次に亞獻員及終獻員各位に就く
次に正時典主を靈座に設く
次に進饌
次に贊禮前導王殿下位に就かせらる
次に王殿下俯伏哭せられ諸員哭す
次に王殿下止哭興きて四拜せられ諸員止哭興きて四拜す

李王殿下へ各宮殿下より御見舞品

二十二日は故李太王殿下御一年祭執行に付御見舞として李王殿下に對し梨本宮を始め伏見宮、有栖川宮、閑院宮、東伏見宮、華頂宮、朝香宮、東久邇宮、北白川宮、山階宮、賀陽宮、久邇宮、竹田宮の各殿下より御菓子一折宛御贈進相成りたるを以て藤波通譯官は二十一日午後御使として昌德宮に伺候し御見舞品を贈呈せり

次に王殿下晨祼禮(降神式)を行はせらる
次に勅使拜禮(祭員前導靈座の前に詣り玉串を捧げ拜禮能て退出せらる)
次に皇后宮御使拜禮(同上)
次に東宮御代拜(同上)
次に各宮家總代拜禮(祭員前導靈座の前に詣り拜禮能て退出せらる)
次に梨本宮家代拜(同上)
次に朝鮮總督拜禮(同上)
次に朝鮮軍司令官拜禮(同上)
次に朝鮮總督府勅任官總代拜禮
次に朝鮮軍勅任官總代拜禮
次に朝鮮總督府奏任官總代拜禮
次に朝鮮軍奏任官總代拜禮
次に王殿下初獻禮を行はせらる
大祝祝文を捧讀す
次に亞獻員(王世子御名代亞獻侯爵李載完)亞獻禮を行ふ
次に終獻員(李堈公)終獻禮を行ふ
次に王殿下俯伏哭し哀を盡させられ諸員俯伏哭し哀を盡す
次に王殿下止哭し興きて四拜せられ諸員止哭し興きて四拜す
次に虞主を納む
次に贊禮前導王殿下望燎の位に詣らせらる
大祝祝文を燎く
次に王殿下齋殿に還らせられ
禮畢
員退出す
次に諸執事及執禮拜位に復し四拜し退出す
次に殿司饌を撤し訖つて退出す

御一年祭儀中晨祼禮の次に勅使其の他の官氏名並に拜禮の順序左の如し

勅使　朝鮮總督府遞信局長　持地六三郎
皇后宮御使　京畿道知事　工藤英一
東宮御代拜　鐵道部長　和田一郎
各宮家總代　學務局長　柴田善三郎
梨本宮家代拜　殖產局長　西村保吉
朝鮮總督
朝鮮軍司令官
在朝鮮陸軍部隊勅任官總代　陸軍少將　大野豐四
朝鮮總督府勅任官總代　朝鮮總督府庶務部長　青木戒三
在朝鮮陸軍部隊奏任官總代　陸軍大佐　西田友幸
朝鮮總督府奏任官總代　朝鮮總督府事務官　弓削幸太郎

李王殿下の御親祭
＝孝德殿御一年祭＝

孝德殿御一周年祭を御親祭あらせらる、李王殿下には二十二日午前十時昌德宮御出門、途中行列は平日と格別の相違なく大漢門より德壽宮に入らせられ德弘殿の御廊下傳ひに九如堂に御入りあり少憩の上御祭場に入らせ給ふ筈にて祭場は孝德殿內の奧なる靈座の左右は御帳にて繞らし靈前の祭卓には陛下よりの御祭粢料を供へ其左右には各八供の御鏡餅を並列し焚香所等型の如く各御代拜位に總督軍司令官李王職長次官其他御親族の位貴族席は其前面に設けられ哭班並に一般參列者は致中門外庭上に設けられたる幄舍內にて參拜の筈なり當日宮內祭場外は昌德宮警察署員二十二名にて警戒に任ずる由なり

李堈公參列なし

李堈公は明二十二日の故李太王殿下の御一周年祭に御參列の筈なりしも數日前より輕微なる流行性感冒に罹られ引籠り中に付參列御見合せの筈なりと

李王世子殿下の御婚儀愈御延期か
梨本宮殿下の御服喪

梨本宮殿下には池田侯並に母堂逝去の爲め規定の御服喪あらせらる可きに就き方子女王と李王世子殿下の御婚儀も御延期の已むを得ざるに至れりと(東京特電)

宮內省の解釋次第で或は差支がないかも知れぬ
御婚儀と皇室服喪令に就て　田中李王職事務官は語る

池田侯爵家の不幸に依り同家と御近親の間柄なる梨本宮家御服喪の爲め王世子殿下の御婚儀御延期如何に付田中李王職事務官は

皇室服喪令に依ると梨本宮家にては九十日間の御喪に服さなければなりませんから自然近頃傳へらるゝ日取に御婚儀が擧げられるものとしたら御延期の止むを得ない場合があるかも知れません然し九十日の喪は一期二期の區別があつて第一期は二十日間、第二期は七十日間と別れて居りますから宮內省で什麼解釋するか解りません解釋次第では差支ないやうにならむとも限らない、何方にしても未だ

宮內省からの通知に接しないので明瞭にお話は出來ませぬ」この答へ、國分次官は曰く『服喪に解釋すれば二十日間の第一期喪で公式には差支なさゝうに思はれますが今まで先例のない事ですから宮內省で什麼決定しますか、吾々としても又復の御延期のないやうにと祈つて居る次第で種々と研究中です、御成婚を待かねて居る人々も數少くないので成らう事なら

此儘御遂行出來るやうにありたいものです』と困つたと云ふやうな面色、想像するが如くんば或は御延期なきやも

大邱より東京へ
陸軍側の歡迎飛行　多分實現せらるべし

伊國飛行隊歡迎準備は着々進行中なるが陸軍にても此際歡迎飛行を爲す計畫あり多分實現さる可く決行の曉は航空學校にて研究中なりしサルムソン二百六十馬力を使用し大邱より大阪經由代々木に到る航空路を飛行す可しと(東京特電)(號外再錄)

空中先導
東洋の飛行徑路　上海東京間の

日伊連絡飛行歡迎準備は多數の委員を督勵して着々是れに努めつゝあり東洋の飛行航路は伊國飛行中尉アルゼチルイ氏スヴァ式複葉を操縱して上海東京間の空中先導を爲すべく我が陸軍にても歡迎飛行を行ふ計畫にて先程來委員會の議題に上り目下研究中なり(東京電報)

陸軍省より接件委員を
近く任命派遣

朝鮮に於ける伊國飛行著陸歡迎接伴の爲め陸軍省より今回四名の武官を任命近く來鮮すべきが朝鮮には櫻井少佐森中尉の二名が新義州には曾て青島戰にて勇名を轟かしたる坂本大尉、大邱には翌早中尉擔當接伴等に關し萬遺漏なきやうそれ〲準備すべしと

暴風に襲はれつゝ
プロニー機サロニカへ
羅馬東京間大飛行

羅馬二十日發電＝羅馬東京間飛行の爲めプロニー飛行機はスカヴィニ、ボナルミ兩中尉搭乘ヴァロナに少時着陸の後十一日サロニカに到着せり右飛行機は折柄强烈の風に遭ひアルベニアの山獄一帶暴風に襲はれたるを見たり同飛行機はサロニカにて熱心なる歡迎を受け十四日スミルナ經由アグリア、アレッポに向ふ筈なり(倫敦電報號外再錄)

嚴しい總督府に優しい女事務員
資格は高女卒業の未婚者と決めてある

總督府にも婦人の事務員を採用することにしましたと安武文書課長は笑ひながら語る

元來文書課の事務には女子に好適した事務が多い、取り分け印字器(邦文タイプライター)を用ゐてする淨書事務などは緻密な女子の天性から謂つて反つて綺麗に出來ると思はれるので先頃來遞信局を始め民間銀行會社などに於ける從來設備を調査した結果成案を得たので愈々今度文書課へ數名採用することにした、資格は高等女學校卒業の未婚者と決めてあるが其の內監督者たる一名だけは寧ろ有夫の者が望ましい、給與は最初月額三十圓以上を給し漸次昇給することは勿論であるが技倆次第でより良い待遇を與へる、監督者たる女子には月給六七十圓迄給與する其の外優美なるセルの事務服を支給する、仕事は前記つた淨書事務であつて經驗があれば至極結構であるが未經驗でも採用後暫らく本府で教師を聘して教習する筈であるから差支ない、或は風紀上の問題であるが女子而も妙齡の婦女を使用するのであるから、これは特に嚴格に取締らなければならぬと思ふので其の點は特に注意して勤務中は女子だけを一室に收容して男子と混同せしめない、而して通信などに依つて家庭との連絡を取り登廳退廳の時間を家庭に毎日通知するなど十分の保護に努める筈であるから希望者は自筆の願書と履歷書とを添へて總督府文書課庶務係に宛て、至急申込まれたい云々

伺はれるなら大處の何とやら由俗に謂ふから總督府の事とて嘸多くの申込みがあることだらう而して軈て嚴めしい總督府の事務室にも事務服に包まれた優しい姿が見られることになるだらう

問題の女　小時の戀（六）
『中村家に纏る怪事件』の女主人公時子の身上話
嚴、時子を銃劍で刺す
辯護士に對する醜問題

東京ホテルと云ふのは帝劇東女優の兄に當る人が經營して居たので盛んに女優連中などが出入して居た。二人が此のホテルを經營する約束期間は半年位であつたが要するに二人の經營は巧く行かなかつた。其中に嚴が準禁治產の宣告を受けて居ることや約束手形に無斷で親の署名を用ひたことなどが判つて

訴訟事件が起りかけたが然し二人は江橋と云ふ辯護士に一萬圓の報酬を贈ると云ふ約束で種々と運動した結果、兎も角も事なきを得た

『其時は隨分苦勞も致しましたが、恥しいこともございましたわ。恥かしい御話しですけど、嚴が東京に歸つて來れた時なぞは、新橋の驛前で互に抱き合つて嬉し泣きに泣いた事もございました。それから二人連れで上野公園を散步して居るところを東京日々新聞の寫眞班に撮られ『花見の群から』と題して揭載されたことも御座いました』

と時子が思ひ切つた註を入れるところから察すれば當時二人の戀が如何に濃厚であつたかが察せられる。

×　×　×

其後二人と對中村家には幾多の交涉があり曲折があつて二人は再び京城に歸り夫婦として同棲することが許されるやうになつた。そして二人は中村家經營の

沙里院の農場に行くことになつた。ところが間もなく東京地方裁判所から一通の書狀が嚴の許に屆けられた。それは江橋辯護士に對する報酬の殘務が未だ濟んで居なかつたので同辯護士から

損害賠償を提起したのであつた。そして江橋自身沙里院を尋ねたり中村家を尋ねたりして交涉を重ねた結果、中村家から三四千圓の報酬を出すことになつて漸く此の事件は解決した。其間嚴は一年志願兵として久留米の師團に入營したことがあつたが、其時も時子は嚴に跟いて久留米に行つて居た。其間二人の間には幾度も

痴話喧嘩が持ち上がり或時なぞは嚴は銃劍を引抜いて時子の腿脚を一寸許りも刺したことがあつた。それほど二人は互に熱愛し互に惱み合つて居た

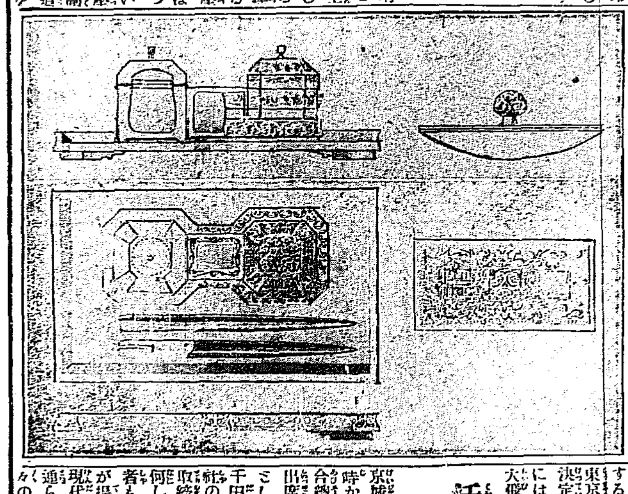
昨今の雪と天候

三寒期にはマダ入らぬが廿日の粉雪は夜に入りて一時晴れたが廿一日は又朝から霏々として白雪が霽つて午後には全市再び白皚々たる雪の都に化した京城測候所の所長は語る

▲近來支那方面の高氣壓の發達著しからず寧ろ衰頽南下する模樣があるので滿鮮一圓は氣壓が低いのである昨廿日低氣壓は日本海中部地方から稍東行しつゝあつたので日本海方面は酷い吹雪があつたろう斯の如き氣壓配置であるから隨所に小さな副低氣壓が發生し易い昨日黃海道方面に現はれた副低氣壓は雪を降らせたが夕方は一時スッカリ晴れた

▲最近の天候は變濕で變りやすい寒暖計は十九日廿日とも例年に較べて高かつたが廿一日朝は引締つて零下十度七分を示し例年に比して三度强寒い今日の午後から風位が東北に變つたので恐らく忠淸北道方面に小さな低氣壓が發生したのではあるまいか未だ各地の入電がないので判明しない

▲午前十時現在で今日迄に降り積んだ雪は廿センチ(六寸五分)ある本日降つた分だけで見ると正午觀測で約五センチ(二寸)である現在暖濕は四溫期にあるが直に三寒期に入ることは思へない



李王世子へ
商業會議所より獻納せるインキ壺

英汽船と衝突す
濃霧と急潮の爲め　關門海峽にて
海軍特務艦『關東』

海軍特務艦『關東』は二十日午後一時頃東より西に向ひ關門海峽を通過中歐洲より上海を經て門司に入港白木崎沖へ碇泊中の英國ピーオー會社汽船ソマリー號(四七二〇噸)と衝突し關東は左舷を破壞しソマリー號は損害輕微なるが如きも恰も同港滑事中の門司港務部瓦斯消毒船は其間に挾まりて大損害を受け石炭積込中の丸九組仲仕數名負傷せり原因は濃霧と急潮の爲め船の操縱意の如くならざりしに依るものなりと(下關電報)

逝去せる李根湘男

中樞院顧問殖產銀行監事男爵李根湘氏は昨紙所報の如く久しく胃病にて自邸に療養中であつたが令兒李根澤子長逝後はスッカリ力を落されて重態に陷り遂に廿日午前二時自邸に於て逝去された享年四十七同家にては未だ喪を發せず

略歷

李根湘氏は號を松僑と稱し明治七年京城に生る明治廿八年、軍部主事に任ぜられたのが官歷の振出で侍從、部守宮內府秘書丞、中樞院議官、外部交涉局長、から特命全權公使として伊國駐箚を命ぜられ外遊し更に農商工部署理大臣道觀察使、宮內府大臣等を歷任したが才學軒秀卓抜なる上に機略自在なる才幹を時の皇帝に知られ殊遇を受け當時韓國政界の第一人者であつた併合後は官を辭し爵に閑日月を非せられ今日に及んだ

新義州東京間＝千哩大飛行
郵便飛行で二等賞を得たる山縣氏の壯擧計畫

昨年東京大阪間郵便飛行に際し本邦最初の長距離飛行を完了して二等賞を得たる千葉縣下津田沼伊藤飛行研究所教官山縣豐太郎氏は近く東京より朝鮮新義州に至る約一千哩の大飛行を決行する計畫を立てたり右は帝國飛行協會の手にて擧行せらるべき東京大阪間無着陸飛行が果して實行せらるゝや否や協會の方針決定せざるより別に此の計畫を立てたるものにて東京新義州間には大阪廣島其の他二三箇所に着陸する筈にて二日間を以て其大飛行を決行する計畫なりと(東京電報)

活氣ある會合
覺醒した京城質屋組合總會

京城質屋組合では二十日午後二時から白水に於て例年の通り組合總會を兼新年宴會を開催した出席者は組合員七十四名、來賓として道三部保安課長今野警視千田本町署長代理岡野部各新聞社の外平壤仁川龍山の質屋組合取締等參會し頗る盛會であつた何しろ久しく眠つて居た質屋業者も今期總會には質屋規則改正が提出され改造の叫び聲の高い現代には唯昔風の質屋さんでは通らぬこと自覺したゞけに却々の活氣を呈した。役員改選では組合長の橋本氏は居据り、副組合長は馬場氏、各部長の選擧を終り橋本組合長が智慧袋を絞つた質屋業者相互の火災共濟會が議題に上つたが之れは近頃保險會社が協定率を引上げた對抗策として案出されたゞけに異議なく可決細則は追つて協議する筈だが之れに依れば質主の質物も火災の場合從前よりは大分保護されやうと云ふもの、次は資本金一百萬圓以上の質屋業者特殊銀行設立の件で京城に本店を置き全鮮に支店を設け質商の金融機關の圓滑を計る一方將來は時代の要求に應じ利子の引下をもしやうとする覺醒的の提議であつた之れも著々各地同業者と連絡を取り實行することの申合せを爲し、尙各自人格の向上を計り斯業の發達を期すべく決議して宴會に移り午後十時散會した

流感で一島全滅
伊豆七島中の御藏島慘狀

伊豆七島中の御藏島は人口七十八人あり本月八日以來感冒發生し島司警察官等も感染し島民全部殆ど之れに冒され一島全滅せんとする慘狀なるより辛うじて健康を保てる時山隆三なる人全島を代表し二十日上京警視廳に出頭救濟を願ひ出たるより同廳にては早速協議の上稻葉防疫官其他數名を派遣することに決せり(東京特電)

爆彈事件愈豫審終結す

爆彈犯人金宇善外三名に對する事件は永島豫審判事の手で着々豫審を進めつゝあつたが愈々豫審を終り一件書類は檢事に廻付され檢事の意見を求めつゝあるといふが四五日中に豫審決定の發表あるべし

近衞光子刀自

近衞公祖母光子刀自は流行性感冒にて十九日逝去せり享年六十六歲(東京特電)

轉轍手の怠慢か
東淸列車衝突の原因

十九日朝東淸線双城堡に於ける東淸列車衝突に就きては尙詳報無きも原因は轉轍手の怠慢なるものゝ如く死者は列車長外二名重傷四名(中一名死亡)輕傷數名なるが邦人の被害は幸にして三名輕微の打撲傷を受けしのみなり(長春特電)

釜山の流感
昨今多少衰[illegible]

釜山市內に流感猖獗を加へつゝあるは既報の如くなるが[illegible]廿七[illegible]日より以來本月十五日迄の統計によれば百五十餘名の死亡者あり一日に尤も多き日は七日に十三名尤も少き日は五日十五名にて尤も少き日は[illegible]日の二名である兎に角一日平均十名位の死亡あり前述調査時前後を通すれば死者優に二百以上に達し居るならん(釜山)

派遣軍隊歡迎

婦人會朝鮮本部にては來る二十四、五兩日及三十日龍山驛を通過北行すべき西伯利派遣軍の各部隊に對し前例に從ひ京城府と聯合し歡迎送に努むる筈なるが同驛には本部役員出張し朝鮮給茶寄贈等の寄贈をなすべしと

滿鐵家族慰問

滿鐵社友會娛樂部に於ては今回約[illegible]の豫定を以て活動寫眞撮行[illegible]間をなす由なるが二十一日[illegible]催するを始めとし午後永同、大田、烏致院、天安、平澤、水原等を巡回す[illegible]

◎武德館寒稽古　黃金町二丁目陣之內氏の武德館にては二十一日より三週間に亘り寒稽古を始むべしと

同情

十五日發行本紙[illegible]の子安林に對し又々左の寄贈ありたり
一金五圓也　[illegible]安部[illegible]
一金一圓也　[illegible]二浦[illegible]

演藝

黃金館玉の替り(廿一日)▲前狂言『二代目[illegible]』▲切狂言『御所櫻[illegible]』[illegible]

大阪ではマスクを設け大[illegible]達が辻に立て[illegible]スク召ませ〲[illegible]とやるさうだが京城では[illegible]らう▲京濟社長の大[illegible]で一齣彼に『大分お暇に[illegible]』が增へましたのね[illegible]氣が好いから漸次黑くなるのサ』と白髯をしごいて[illegible]▲李王職の田中事務官[illegible]で登廳『生れて初めて[illegible]い思ひをした不如意[illegible]惡かつたら樂だつたのに』と大弱し[illegible]樂見物がしたかつた譯でもた[illegible]

東京大相撲星取表（○勝●負ヤ休△預×分）

東の方

力士	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
大錦	○	○	●	○	○					
栃木山	○	○	○	○	●					
對馬洋	●	○	○	●	○					
常ノ花	○	●	○	○	○					
源氏山	○	○	○	○	○					
大門岩	●	●	●	○	○					
宮城山	●	●	○	●	●					
九州山	○	○	●	●	●					
大ノ里	○	△	●	○	○					
宇都宮	●	●	●	○	△					
駒泉	△	●	●	△	○					
[illegible]柳	●	●	○	○	○					
兩國	○	○	○	●	[illegible]					
逆鉾	○	○	●	○	○					
綾川	●	○	○	○	●					
釋迦嶽	●	○	○	○	○					
友ノ浦	●	○	●	●	●					
御西山	●	●	●	●	●					
岩木山	●	●	○	●	●					
一ノ濱	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ					
達ノ矢	●	○	●	●	○					
八甲山	●	●	●	●	●					

勝星五二負星四九四星

西の方

力士	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
鳳[illegible]	○	○	○	●	●					
千[illegible]	○	○	○	●	○					
三杉[illegible]	●	○	●	○	△					
紅[illegible]	○	●	○	○	○					
常[illegible]	○	○	○	●	●					
大[illegible]	○	△	○	●	○					
白[illegible]	○	●	●	●	●					
兩[illegible]	○	●	●	○	○					
大[illegible]	●	●	●	○	●					
若[illegible]	●	○	●	○	●					
矢[illegible]	●	●	○	○	●					
鷲[illegible]	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ					
呼[illegible]	●	○	●	●	●					
小[illegible]	○	●	●	△	●					
黒[illegible]	●	○	●	●	○					
小[illegible]	●	●	○	●	●					
阿[illegible]	○	●	○	ヤ	ヤ					
東[illegible]	△	○	●	○	○					
射[illegible]	●	○	○	●	●					
大[illegible]	○	○	○	○	●					
大[illegible]	○	●	●	●	○					
土州山	○	●	○	○	○					

勝星五〇負星四九四星

平北の救濟事業
被救濟者は約十萬人の見込

昨年西鮮地方に於ける旱害は頗る慘憺を極め就中平安北道の如きは其の損害の莫大なる殆ど全鮮の首位を占め同道內にて救濟を要するものは約十萬人の見込みなるが朝鮮總督府は全鮮に亘り年八分の低利資金四百萬圓を以て全鮮食料資金低利貸付規則を發布し一時の急を救ふと同時に各種の土工を起し積極的方針の下に旱害救濟の實を擧げんとしつゝあり、今平安北道第一部長藥秀作氏の語る處を聞くに左の如し

食料資金貸付

平安北道に於て最も旱害の苦しきは定州、博川、宣川の三郡にして其の救濟を要すべきは約十萬人の見込みなり、今回殖產銀行より低利食料資金として貸し出ださるゝもの四百萬圓の內平安北道に分布するものは百萬圓なるが是等の資金を各個窮民に貸與する事は到底不可能の事に屬するを以て各郡に於て共助組合を組織せしめ組合より其の組合に貸與する方針を立て目下其の規約の制定中なり、此の資金貸下により一時の急を救ふ事を得るの見込みなり

道路改修工事

食料資金として低利の金員を貸與するのみを以ては其目的を達する安全の道にあらざるを以て此の以外に自己の勞働により收入の道を計る事を計畫し其の一方法として京義線一等道路の改修工事をなす事とし他に定州、朔州線の一部、雲昌線の一部をも改修する計畫を立てたるが其工費は約七十萬圓にして特に救濟の目的に副はんが爲年次を繰上げ昨年十一月中より工事に着手したるが男子一人一日所得は約八十錢乃至九十錢に相當するを以て被害民は是によりて十分の所得あり非常に罹災民を喜ばしめつゝあり

雲田乾畓の水利

定州郡雲田古邑の乾畓は約四千二百町歩にして今回の旱害が最も慘憺を極めたる處なり同地方の乾畓は殆ど水利の據るべき處なく凡て天水を便りとするものにして從來三年に一回は必ず旱害あるものと信じ敢て怪しむものなき地方なるも昨年の旱害は六十年來稀有の事に屬し前記四千二百町歩に亘り殆ど一粒も實らざりしものにして地方民の疲弊は其の極度に達したり依つて當局に於ては一面此の乾畓をして永遠に旱害を除去し一面に於ては罹災民に生業を與ふるの意味に於て關係地主に慫慂し水利組合を組織せしめ工費約百八十萬圓を投じて

水利事業を起す

事としたり其資金を東拓に仰ぎ反當四十圓乃至四十五圓を以て全蒙利區域の水利事業を完成する事となるべし此の工事は三月末に到るべし又は四月初旬の解氷期より着手する事となるべし水源地は古邑より約三里納淸亭より約一里の溪谷に一堰堤を築造して貯水地となし前記四千二百町歩の乾畓をして水田たらしめんとするものなるが同蒙利地區は各地主の利害關係の面倒ならざるを以て從來地主一同は非常の喜悅を以て從業せん事を待ひ居れり云々

警戒線百五十里
警官憲兵の隱れし勞苦と努力
森浦平北第三部長談

國境を劃する鴨綠江は平安北道の管轄區域內に於て約百五十里ある、此の長江は經濟上に於て一面非常に有利な河川に相違ないけれども、自分等の見る國境警備の上から見ると非常に厄介な面倒な長江である、殊に昨今不逞鮮人の蠢動する時期にありては

殊更に厄介千萬

と謂はねばならぬ、現在の警備配置はこの百五十里の間に於て憲兵監視所が四十二箇所、巡査駐在所が四十八箇所、臨時出張所が約三十箇所もあつて而も晝夜兼行で憲兵又は巡査をして互に連絡を取つて不逞鮮人の侵入及び支那人馬賊の襲擊に備へて居る次第で其の骨の折れる事は夥しいものである、加ふるに各沿岸各地の村落には自衞團なる者を設けて不逞鮮人や支那馬賊の侵入に備へてあるけれども、この自衞團をして

遺憾なく活動を

させようとするには勢ひ巡査又は憲兵をして十二分の監督を要する事であるから、實際警備の任に當る當事者の苦痛は門外漢の容易に窺ひ知る事は出來ない、おまけに最近の嚴寒では其の勞苦の程は察するに餘りあるであらう

義州に於てさへ

過日は零下二十五度に降つた事があるより推して見ると上流の奧地では零下三十度以下に降る事も想像するに難くはない、其の嚴寒と戰ひ地形の險惡と闘つて晝夜兼行の警備事業の困難を察して貰ひたい、殊にこの結氷期は對岸の支那領と陸續きと同じ事であつて

何時馬賊の襲來

を見る事があるかも知れない爲に夜間は連絡を取るとしても單獨の行動は許さないから二名乃至三名同伴する必要がある、而し幸いにも目下の處は一般に平穩無事で情報としては相當誇張した報告も來る事は來るが大した事件の突發しないのは

洵に喜ばしい事

と思ふ、何を云ふにも百五十里の長江一帶を遠きは七八里、五里三四里最も近い處に於て二里位の間隔を置いて少數の憲兵巡査を配置して傍ら電話線の保護に任ずると云ふ事は容易ならぬ難事と承知して貰ひたい（義州）

橫斷航路近況

淸津より內地輸移出の大豆は從來橫斷航路船立神丸に依りて從事されつゝありしが過般朝鮮郵便の阪神航路を除く全部航路線の輸出組合商等之れが爲め遞信局上賃行政表と同時に淸津は少からざる打擊を受くるに依り朝郵本社と交涉の結果春日丸該航路に就航の約束なりしも其後淸津港に於ける大豆は盛んに出廻りを初めたると春日丸の延著とに依りて大豆の滯貨夥しきものあり前回立神丸の如きは滿載の盛況を呈せるも未だ之れのみにては積載し切れず稅關埠頭及び停車場には大なる滯貨をなしつゝあり、而して今後益々大豆の出廻り旺盛を極むる傾向あれば橫斷航路の成績は益々良好を見るに至るべし（淸津）

親和會組織

南原郡に在住する內鮮人を以て組織し內鮮人の融和並に親睦を謀る目的を以て會費の如きも徵收せず有志の醵金に仍て經營することゝなり去る十一日午後七時より菊水旅館にて發會式を擧行百三十餘名出席先づ上田會長の開會の辭、岡崎判事の祝辭あり夫より幹事を會長の指名に一任する事に滿場一致決定し會長は左記の卅五名を指名せり
會長上田寥介、副會長梁載琫、幹事山下良祐、西田農、諏訪義雄、橋田環、竹田林太郎、細野元助、佐伯千陰、明見文之進、笠井七二、月本虎太郎、趙馨夏、李河德、梁慶洙、李周容、李炫琫、李敦恒、朴奉珠、外各面長十八名

鵞口瘡發生す
鍾城邑內に
蔓延の徵あり

昨年一月十三日咸鏡北道會寧に流行性鵞口瘡發生し道內各郡を通じて一萬四千頭の病牛と二百八十頭の斃死牛を出したるが本年其一週年に當りて早々又鍾城郡鍾關面周山洞に突然十二頭の病牛發生し一頭の斃死を見たる爲め道當局の狼狽一方ならず鍾城、行營、防垣鎭、童關鎭、北行坪等に各技手獸醫を派して國境一帶に防疫線を張り極力防疫に努めつゝあるが益々蔓延の徵あり農家及び畜牛家は恐慌し居れり（淸津）

生牛狀況（大田）

大田郡に於ける昨年四月より十二月迄の牛市場の狀況を聞くに出場總頭數は八千百六十三頭にして內賣買せられたるは牛一千五十頭此の價格八萬七千五百四十三圓犢牛一千三百九十三頭此の價格七萬一千七百九十二圓にして此の總價格は十五萬九千三百三十五圓なりしと

乘降人員（大田）

大田驛に於ける本年一月一日より同十五日迄の乘降人員其他の營業狀態を聞くに乘人員九千八百四十三人此の賃金一萬九百八十六圓九十七錢發送手小荷物は二萬四千八百四十一斤此の賃金五百十二圓十一錢發送貨物五百七十六噸此の賃金二千七百七圓六十八錢總賃金額は一萬四千二百六圓七十六錢なり而して降車人員は七千七百六十人にして入場者人員は八百五十七人なりと云ふ

群山米穀組合長改選（群山）

群山米穀組合にては過般組合長たりし三雲義三郎氏の三井物產群山支店長たりし揚の爲組合長を辭任し副組合長たりし林醫助氏は病氣の爲辭任したるを以て一月十七日午後七時より組合員總會を開催し正副組合長の改選を行ひたるが投票選擧の結果組合長として森菊五郎氏大多數にて當選し副組合長としては山根照吉氏を選擧決定したり（群山）

會席御料理
京城南山町二丁目鮨屋別莊下
竹の家 改め 岩琴
電話壹一六三番

通路安全期成會
會寧人士蹶起す

本月四日の會寧間島通路に於ける行金掠奪事件の發生は間島方面の經濟界に影響し漸く活躍期に入らんとする大豆其他穀類の一時輸送杜絶の狀態に入れる爲其影響も尠からざるは勿論、最近同通路に於て兇賊の威嚇又は掠奪の慘禍を蒙れるもの六件の多きに及べるを以て今や會寧間島通路の不安は一般人心を脅威するに至り引いては間島貿易上に及ぼす處遂に計り知るべからず此際關係地方は一齊に蹶起し其筋をして同通路の絕對的安全方法を建てしめんとの趣旨より會寧人士は茲に率先叫びを上げ去る九日市民大會を開催して會寧間島通路安全期成會を組織して內鮮人委員各四名宛を選定し各方面と連絡を取り極力目的の貫徹を圖ることゝなれり（淸津）

客月釜山貿易（一）

釜山港の客臘十二月中に於ける移出五百十五萬二千零八十九圓移入二百二十五萬五千九百十[illegible]三百八十萬九千三百圓の增加を示せり今之れを各重要品目に就[illegible]は百七十二萬九千百九十五圓の增加なるが大正八年に於ける內地收穫高は六千四百萬石を有し[illegible]狀態なるを以て金融市況不振との爲め不作なりしも南鮮は稍や外なり鮮米の買付け隨つて旺盛との收穫ありしを以て左の如き生產[illegible]計上し前年同月に比すれば百五十六萬五千七百十三圓の增加を[illegible]に前期と大差なく又支那部に於ける日貨排斥は少からざる影響せ[illegible]二百十一萬圓を示せり▲米穀[illegible]業は前年に比し著[illegible]ひ事業も亦漸次進捗しつゝあり、向[illegible]に三十八萬圓の增加を見に至[illegible]▲生牛は前年より十三萬[illegible]なりと聞く之を完全ならしむ[illegible]き効果を得べ[illegible]

伊達騷動
小金井芦洲講演
第百廿一席

安藝面會の居催促

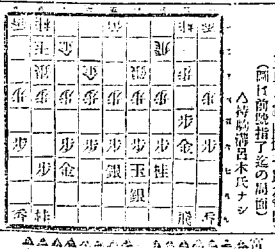
若『へエー……御待受けも宜う御座るが只今申しました通り此の御大醉の事ゆゑ、今晩明日明晩邊迄は御目覺めは御座りますまいと存じますが……』安『夫までの事で御座る、今日は別して用事も御座らねば先づ兎も角も夕景まで御待受けを致しませう、何卒御目醒めが有りましたら、一寸御知らせを願ひます』と落付き拂つて居る、若侍も心中には少し困つたが強て歸れとは云へないものですから若『然らば御氣隨に遊ばしませ……したが迚も御會ひは出來ぬものと御思召下されませ、成丈け私も御目醒めのある樣に注意致します』少々差掛つた用事も御座りますれば中座御免を蒙ります、御用の節は御手をお鳴らし御近習衆を御呼び下されと云ひ捨て、孤鼠々々と奧へ這入つて來て一味の者を別室に呼んで若『サア各々今日は途んでもない事が出來いたした、他の事でもあらう、伊達安藝が今度の訴訟、然るに今日突然やつて來て昨日出府致した、是非御隱居樣にお目通りを致し度いと申す、御隱居樣も亦安藝には會ひ度いと常々仰せられて居る、お會はせ申せば必ず兵部樣甲斐初め我々の不爲になる事を云ひ出すに違ない、是は何でも會はせならぬ、に限るから御隱居樣は日夜御酒に耽らせられて而も今日は三日三夜の呑み續けで先程寢入つたばかりだから迚も御面會は六ツケしい今晩や明日明後日位は御醒駄目だといつてあるのだが、夫れでも御目醒に相成る迄待つといつて安藝老人動かないが、其方等を呼ぶだらうが話して置くが、皆々其心得で居るが宜しい』一同『如何にも心得ました』と打合せて一同は何喰はぬ顏、斯くとは神ならぬ身の伊達安藝老體、表の座敷に茶菸盆火鉢を出されたつきりで、チン……と澄まして待つて居る、最前から前藝岡に注意を受けて居るから咽喉が渴いて來ても茶も呑まず好める煙草一服吸はず、端然として居るが、迚も尋常な人には出來ない精神修養が出來て居るから何時間坐つて居たからとて姿勢が崩れるなどと云ふ事はないが殆ど現今の時間で二時間當時の一時其內に日が暮れかゝつて來る、ポン〳〵〳〵と拍手を打つと若『ハーイ』と一人の若侍がそれへ出て若『誰か御用で御座りますか』安『御隱居樣は如何遊ばして御座るな』若『ハイ兩三日前より御酒を召上り續けて殊の外の御大醉遊ばされ漸く御寢あらせられましてござります』安『アー左樣か、何かも御目醒はないかな』若『左樣で濱田樣も嘸かし貴方樣がお待遠うであらうと仰せられまして、冷水杯をお勸め申し上げましたりお起し申し上げますが一向他愛がありませぬ』安『ウム好い御目が醒めたら申上てくれよ』若『畏まりまして御座ります』と云ふて退る、又暫らく經つて又手を拍つと若侍が參りまして若『……何か御用で御座りますか』安『オ、御隱居樣は如何遊ばして居らるゝか』若『ハ、前三日以前より御酒を召上がられ續いて殊の外の御大醉遊ばされまして御座ります、今晩や明日明晩位は御目が醒めますまい』安『ア、左樣か……だが先刻より毎々相尋ねると御隱居樣御寢遊ばしたと申すが最早何時頃御寢に相成つた……』若『エ、夫が昨晩先刻で御座りまして時々夢中の樣にヂョイ〳〵御目を御開き遊ばしましては又御寢みに相成りますので未だ御目醒と申上ますので…』

歌留多大會
全州支局主催で
來る二十五日

京城日報全州支局南原出張所及び全北日々新聞南原支局主催にて來る二十五日（日曜）午前十時より菊水旅館に於て第二回歌留多大會を開催する筈なるが各選手は毎夜猛烈なる練習を續けつゝあれば當日は定めし未曾有の盛況を呈すべく尙官民有志よりも大會に金品の寄贈ありて非常に前景氣盛んなり尙本社よりは當日の入賞者にメタルを贈呈する筈なり（全州）

將棋新手合（三）
於京城黃金町三丁目三二五 溝呂木棊所 電話（二〇二八）

角落 六段△溝呂木光治（京城）
三段▲龜山謙次郎（釜山）
（同日前號指了迄の局面）
△持駒溝呂木氏ナシ



（今日指前譜）△八六金 ▲七三銀(ニ) △七七桂 ▲五一飛(ホ) △七五歩 ▲同歩 △同金 ▲百九歩 △同歩 ▲同歩 △五六歩 ▲五六角 △同飛 △六六 △七四歩 ▲七六金 ▲六五歩 △同桂 ▲六四歩 △七三桂ナル ▲金コル（以下次號）

溝呂木六段講評
（ニ）七三桂早し二二飛と指す處（ホ）五二飛は無意味なり矢張り二二飛と指すべし（ヘ）五四桂引きは惡手なり後に二筋より破らるゝ虞あれば五二飛と引く方優れり

一月廿三日
（舊）十二月三日 金曜日 みかのへたつ 八白
自勝 うしさら（東北） 友引 ▲鬼 ▲卒

▼八白▲進退共に注意すべき日
▼九紫▲優遇を受くる日なれど調子すぎて輕擧みをなさば凶
▼一白▲兎に角勉強のある日にて善事を逸さば悔のある日也
▼二黑▲勢ひのつく面白き日なれど秘づみに乘り過ぐれば凶也
▼三碧▲氣苦勞の起り易き日也
▼四綠▲取引け行を正しくすべき日にて妄進を愼しむべき日也
▼五黃▲何となく嬉しき事のある日なれども酒色を注意すべし
▼六白▲金錢に注意さへすれば外の事は何を爲すも大に吉なり
▼七赤▲落付かぬ事のある日なれど何か喜びごとのある日なり

演藝案內

櫻井町 大正館（活動）二十五日より新春第三次特別大興行 アツシング・スピーナー 加賀鳶 [illegible]

黃金町 黃金館 [illegible]

千代田城 [illegible]

御所櫻 [illegible]

本町一丁目 喜樂館 モレリ姉妹 火の玉典膳 [illegible]

浪花館 京城落語大會 [illegible]

本町二丁目 壽館 新薄雪物語 御所櫻三段目 [illegible]

ねる小便と小便近き人へ

毎日來る新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す
東京市京橋區築地町 電話京橋三九七六 救世院

[illegible] 仁川本町 [illegible] 商店

大酒家と一月の腦神經病者

正月と酒

嬉しい正月、交際や遊樂に逐はれる正月は自然に夜更や朝寢、不規則な飲食、殊に酒を飲過ぎたりして不攝生に陷る事が多い。故に正月は兎もすると腦を害しとり分け腦神經を犯さるゝ人の多い時である、特に嚴寒の候は時候の候と共に一番腦神經が疲れ衰へ易い時であるから右の通の次第であるから、平生から腦神經の惡い人は勿論、健全な人でも大に用心せねばならぬ

頭痛と逆上

殊に頭痛持の人、便秘性の人、逆上症の人々は、譬は平生から腦神經に故障のある證據であるから特別注意して最も奏效の早い療法を施さねばならぬ。先づ攝生が何よりの肝要であるが藥物療法として最も確效があり迅速に治癒すべき方法は唯一つある。其は外でもない腦神經良藥として現代に匹敵するもののなき健腦丸の服用である

何故一番良いか

醫學博士が有効を證明せられた健腦丸が何故腦病藥として唯一の權威があるか。其は外でもない其成分中に腦神經に對する最も有效なる藥劑を含まれてゐるから各症候に奏し極めて著しい効果がある。分り易く言へば便通を快くし逆上を引下げ、氣持を爽にし頭痛、眩暈を治し、記憶力を增進する作用がある。

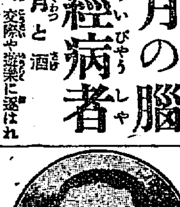
此正月を……

室內に籠つて不攝生に暮らす事は腦神經衰弱の誘因を釀し易い。殊に大酒家は急劇な腦充血中風等を發し易いから、格別に心を用ひて健腦丸を常用するがよい。何の逆上や頭痛位と打ち捨て置くと恐るべき腦神經衰弱の端となる。常に腦の惡い人は迷つてゐる時でない。速に健腦丸を一週分續けて御試みなさい。年の始の此月から愉快に活躍する事が出來る。

模範的製藥

健腦丸の製劑は丹平商會製藥所の化學研究所に於て專屬の技師藥學士諸氏が研究に研究を重ねて腦病最良藥のみを完全に配伍し、嚴正なる監査の下に製劑された者であるから今日では腦病藥として是以上の者はないと言つても過言でない。健腦丸の藥價は五回分金三十錢から四日分六十錢一週分金壹圓以上十週分七圓迄種々ある。全國藥店並に海外有名都市に於ける信用藥舖に取次販賣してゐる。若し品切の際は本舖大阪市順慶町三丁目丹平商會本店、同平野町二丁目丹平分店、東京日本橋道修町丹平商會支店へ御注文あれ。

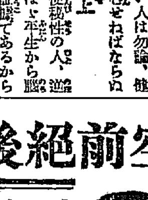
活きて働らく 新案手紙辭典



▼一見即座にスラ〳〵と……
簡便巧妙 本書は世に有りふれた語句作例のみを採めた類書と異なり必要に應じて自由に活用することの出來るやう配列索引頗る便利に編まれ◎書式、文化其他一切の注意と心得は勿論◎日常百般有りとあらゆる手紙に對し、初めに其文に必要と思はるゝ用語を掲げて解釋を附し次に類句を集め、此の二つを組合はすれば直ぐ思ふ通りの手紙が出來るやうに仕組み、一々二種又は三種の作例と古今名家の實例を示し、◎更に手紙を書く場合に是非必要な「考へ方」に極めて懇切なる指導をも施してある。是れは本書の他に比類なき絕大の特色の一つであつて、ドンナ手紙下手な人でも何の苦もなくスラ〳〵と手紙をものする事の出來るやう巧妙に說いてある。
▼以上の特色を主として本書全體を組織したものであるから、座右に一冊を備ふれば、ドンナ手紙でも自由自在！如何に便利で重寶か、一度手にとつて御覽になればスグ分る
四千部限り特價 前金一圓六十錢 送料不要 □後金希望者は[illegible]
三六判總紙數六百頁 洋布裝金文字 定價金二圓 送料十二錢
[illegible]文[illegible]

空前絕後の秘書現る

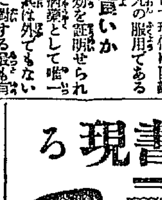
男に脆い女の顏



どんな女が男に脆いか
一見即座に
▽額で分る ▽目で分る ▽眉で分る ▽鼻で分る ▽口で分る ▽耳で分る ▽顎で分る
其他チョイとした要點をチョイと見れば直ぐ分る
▲結婚見合の男女には是非共必要〜大必要
特價一圓四十錢 注文略號顏と心 書留送料金十錢

と

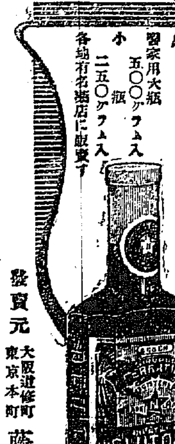
女に脆い男の顏



どんな男が女に脆いか
一見即座に
▽額で分る ▽目で分る ▽眉で分る ▽鼻で分る ▽口で分る ▽耳で分る ▽顎で分る
其他チョイとした要點をチョイと見れば直ぐ分る
▲男も女も社交上には是非共必要〜大必要
此際前金注文者に限り與妻艷麗美人珍畫進呈 無代

東京市麴町區元山町二ノ五 振替口座東京二〇六二七番 有終館

補血強壯
ブルトーゼ
正しき補血強壯增進劑



醫學博士 醫學博士 東京帝國大學病院 各地帝國大學病院 ドクトル ドクトル 各府縣立病院 各赤十字病院 實驗推奬 御採用

家庭用大瓶 五〇〇グラム入
小瓶 二五〇グラム入
各地有名藥店に販賣す

本劑は人體肝臟中に含まるゝ蛋白鐵化合物と同性にして造血並に營養上强力なる作用を呈し食慾を進め精力を盛んにす
本劑には神經性、呼吸器、並に鐵缺性及貧血諸病に適應する五種の配合劑あり
【說明書御申越次第送呈】

發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤友吉商店

整腸消化劑
ビオフェルミン
糖化菌含有乳酸菌製劑

本劑はメチニコフ博士の提唱したる乳酸菌療法に最も適したる完全乳酸菌製劑にしてブルガリアン乳酸菌の外腸內に於て澱粉質の消化を行ひ併せて乳酸菌の作用を强烈ならしむる糖化菌を含有す。即ち本劑は腸內殺菌、防腐、消化、整腸の三作用を有するを以て腸諸疾患、腸消化不良等に對して現今唯一の良劑として賞用せらる。
三十瓦入（金九拾錢）百五十瓦入（金參圓九十錢）五十錠入（金七拾五錢）百五拾錠入（金貳圓）送料十二錢、外に粉末三百瓦入、四百五拾瓦入あり
本劑に關する醫家二百有餘名の臨床報告集あり、無代郵呈す。
全國知名藥店に販賣す。

發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

商況

京城在米增加

京城穀物商組合の調査によれば去る十五日に於る京城在庫米は一萬四千二百六十七叺にして之を客月末日現在に比するに二千五百六十五叺の增加を示せるが之れが原因としては客臘中米界春高見越に賣惜み出廻り期に出穀少かりしものが春高實現と共に奥地手持ち筋が漸々賣氣を萌せると舊臘來の降雪の爲め出廻り阻止せられたるものが最近出廻りを見るに至りたるためなりと云ふ

京城薪炭市況

京城に於ける薪炭は客月來地方產地より相當の出荷あり需給關係も自然平調に經過しつゝありしが最近打續く降雪の爲め出荷出細り相價格の昻騰を示せるが向後尙幾分の高値を免れざるが如く最近根拨十貫一圓六十五錢白炭一圓九十錢黑炭二圓五十錢の平均値を示せり

財界閑話

京城現物市場の許可も愈々近いらしいそこで株の分配に就て早くも我利々々連は何の彼のと騷いでゐる▲市場は許されるにしても頗る拘束されたものであつて三百萬圓の資本金七十五萬圓の拂込に對し最初より果して幾何の利益を擧げ得るか疑問である旁此株價の伸力を途方もなく想像するのはごうであらうと某有力發起人は語つてゐる▲唯何の彼のと云つても此株の將來は餘程面白からうその將來を見込んでか否か市場の許されぬ前より卅圓見當のプレミアム株の賣買が密に行はれてゐるさうな▲今度の六萬株の中二萬ばかりはある政黨關係者で失敬するやうの說も立つてゐる此節やつて來てゐた某々代議士はその制取のためだときめて話すものもある▲然し釘本君はその風說を頭から否認し某々代議士とは會ひもせなんだと云つてゐる▲一ヶいゝ噂と云ふものは事實から出たものと全然想像より造り出されたものと多少の根據はあつても說者の作爲の少からず加はつたものとある▲現物株對なにがし政黨關係は果して如何それは何れ出づべき株主名簿が說明するであらう

日銀帳尻

十九日現在左の如し

發行高	一、二二八、〇〇〇千圓
正貨準備	九四六、〇〇〇
限外發行	一六一、〇〇〇
貸出高	四〇四、〇〇〇

○鮮銀券日報 十九日現在左の如し

發行高	一四九、八二六、一〇二圓
正貨準備	五三、三五五、八二四
限外發行	四六、四七〇、二七七

株式

東京現株特電

廿一日中値 ▲騰貴△下落

銘柄	拂込	時價
鮮銀	一〇・〇〇	▲二五〇、五
同新	一〇・〇〇	▲二五〇、〇〇〇
東拓	五〇・〇〇	……
一新	三七・五〇	……
二新	一二・五〇	……
殖銀	五〇・〇〇	△一三〇、〇〇〇
東亞	一二・五〇	……

東京株式 至急電報

銘柄	廿一日第一立會	前電と比較
東株	五一六、〇〇	二、九〇高
同新	五一九、九〇	二、九〇高
滿鐵	一八九、〇〇	……
一新	一八二、一〇	……
二新	……	……

大阪株式 至急電報

銘柄	二十日後場大引	二十一日前場寄付
大株	四七五、九〇	四七三、〇〇
同新	四七九、九〇	四七九、〇〇
郵船	二四九、九〇	二四九、九〇
同新	一四一、三〇	一四一、九〇
商船	一七七、一〇	一七七、九〇
同新	一七三、五〇	一七四、九〇
鐘紡	五〇九、九〇	五〇九、九〇
同新	四九七、九〇	四九九、〇〇
東紡	三三〇、〇〇	三四三、九〇
東鐵	二〇二、三〇	二〇五、二〇
當米	二二一、〇〇	二二六、九〇
上取	二二一、〇〇	二二三、八〇

安東現株特電

二十日(續騰)

銘柄		當限	先物
安東信託	寄	三八、〇〇	三八、〇〇
	止	三七、五〇	三七、五〇

▲當限出來高 九〇〇枚 ▲先限出來高 一五〇枚

銘柄		當限	先物
滿洲銘證	寄	四一、〇〇	四一、〇〇
	止	四〇、五〇	四一、五〇

▲當限出來高 一〇〇枚 ▲先限出來高 五六〇枚

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	二五・〇〇	二九一、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四一、〇〇〇
電興	一五・〇〇	二六、五〇〇
皮革	二〇・〇〇	二五、五〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇〇
朝紡	一二・五〇	三八、〇〇〇
朝紙	一二・五〇	▲四二、〇〇〇
殖銀	五〇・〇〇	五九、〇〇〇
同新	一二・五〇	二〇、〇〇〇
滿毛	一二・五〇	四八、〇〇〇
滿糖	一二・五〇	四八、〇〇〇
朝煙	四〇・〇〇	三八、〇〇〇
鮮土	一二・五〇	一七、〇〇〇
東亞	五〇・〇〇	九七、〇〇〇
同新	一二・五〇	三九、五〇〇
森鐵	五〇・〇〇	六、五〇〇
中鐵	一二・五〇	二五、〇〇〇
殖鐵	一五・〇〇	一五、五〇〇
朝日	一二・五〇	一三、五〇〇
安信	一二・五〇	△三八、〇〇〇
銘證	一二・五〇	△四一、〇〇〇
京銀	一〇・〇〇	二四、〇〇〇

東京現株別電

二十日正午値段 東株四八五、〇〇▲滿鐵二新一四三、〇〇▲郵船一四二、〇〇▲商船一七五、〇〇▲鐘紡四八五、〇〇▲東拓一新八〇、〇〇▲滿糖一八一、〇〇▲鮮銀新一四八、〇〇▲殖銀一三〇、〇〇▲朝紡二八、〇〇(二和商店入電)

鮮銀一四九、五〇▲殖銀一三〇、〇〇▲東拓一新八〇、〇〇▲同二新四〇、五〇▲朝紡三九、五〇▲滿蒙四九、〇〇▲滿糖四九、〇〇▲滿鐵二新一四五、〇〇▲朝紙三九、五〇(新田商店入電)

東京當限電報

東株四八七、〇〇▲同新四八八、五〇▲東汽新四二、一〇▲商船一五七、一〇▲富士紡新二二九、四〇▲滿鐵一新一七四、〇〇▲同二新一四四、五〇▲東拓一新九七、〇〇(古開商店入電)

京城現株市況

今朝市況も引續き內地のボンヤりを移したるに錢證安信の利喰押し入電に商內閑散なるも別項朝鮮製紙の爆發は稍注目を惹き買氣集中したるも浮動株少なき同株なれば出來高は之れに伴はず昨午後より今朝の手合平均値左の如し

銘柄	値段	出來高
朝鮮製紙	四三、〇〇〇	二〇〇
朝鮮紡織	三八、五〇〇	一二〇〇
羊毛絹毛	三五、七〇〇	四〇〇
朝鮮電興	一六、五〇〇	一九〇〇
東京丸工	四二、〇〇〇	三〇〇
殖產銀行	一二八、五〇〇	六三〇〇
朝鮮皮革	二五、三〇〇	一〇〇〇
滿蒙毛織	四八、五〇〇	五〇〇
東拓二新	四二、五〇〇	四五〇〇
日本信銀	二五、六〇〇	二一〇〇

大阪增田ビルブローカー銀行代理店 公債株式現物問屋 丸二株式店 京城永樂町二丁目 電話長二四五九・九四八 受信略語(〇二)又へ〇

大阪一齊反撥

大阪株式市場は去る十九日來先づ鐘紡の增資悲觀より崩れ初めて諸株一齊に暴落したるが昨後場にて主力株の急反撥に連れて諸株又復優勢に立戻り大株の如き新舊十五六圓方引戻し鐘紡亦租株の二十七圓方反撥して前値に復し東洋紡は引續き上伸して昨後場の三百三十圓より今前場は一躍四十三圓となり十三圓方の昂騰となり其他の諸株も之れに連れて三五圓方の引返しを演ぜり

東株先物躍進

東京株式今朝立會は五百十六圓新五百十九圓九十錢と躍進し前電に比し親十一圓九十錢新十二圓九十錢方の昂騰なり

朝鮮製紙暴騰

昨夕刻二和商店入電に依れば朝鮮製紙四十五圓買ひとあり前電三十九圓處より六圓方の奔騰にして四十四圓迄の手合せ出來せしが右は例の王子製紙との合同說再燃せし爲めならんかと

安信漸落步調

安東信託昨夜入電は再び當先共に二圓安を報じて漸落步調を辿るに至りたるが之れ一時の利喰押しに過ぎずと爲す者あれど傳へらるゝ處に依れば某有力筋より賣拔け策として盛んに買煽りたる結果前來の昂騰となりたる次第にして昨今の出來高激減より推すも既に一巡買盡したる形跡あれば眼先は嚴戒を要すべしと稱ぜらる

錢證眼先悲觀

滿洲錢證は昨入電當限四十圓五十錢先物四十一圓五十錢と三四圓方の續落を演じたるが元來同株が二十一二圓處より棒上げ的に四十六圓の高値を現はし親會社とも云ふべき安東信託を凌駕するに至りたるは極めて不自然なる高にして裏面に何等かの惡辣手段潛在し居らずやとは既記せし如くなるが右は果して一派の煽揚策に基因せしものゝ如く某々手筋より手振りに熟練せる株屋二名安東縣に出張せしめて盛んに買手を振らしめたりとの說高く昨今の不勢は之等の手筋より賣出したる結果ならんとも稱せられて眼先悲觀に傾きつゝあり

公債株式現物問屋 丸五商會 有田長商店 京城永樂町二丁目 電話長一四九八 電略〇五

眼先底意强硬

大株大新が尙ほ七十圓臺の價格を維持し居れるは一時は下鞘にありし東株や東新が五百圓以上にありて著るしく鞘の負け居れること且つは昨今は傍觀的の硬派中堅筋を執り居れども例の硬派中堅筋は尙ほ其の方針を變せず安値には買はんの意向を有し居れば迂濶に賣進むならば之を買拾はれて又た利を占めらるゝの虞れある爲めに軟派の追擊を加へ得ざるにもよれども一般市人も吳下の舊阿蒙にあらずして相場を張る事はなかなか巧妙となりて昨今の如き上がドかの見定め附き難き場合に於て手出しするよりもどちらへか動き足が附いてから手出しするのを得策として昨今新規は一向に仕掛けて來ぬから從つて相場も稍や焦附き模樣となつたのであるが一般市人の意向も到底は上るものと見て居る丈けに之らも安値には買覘て居るので扨てこそ昨今の相場は保合ひなれ共底意に强い處があるのであらうと思はれるのである

米況

東京期米特電

●二十一日前場 當限寄付 五十圓六十五錢 中限寄付 五十圓八十五錢

●二十一日前場 寄付 五一、二四 高値 …… 安値 …… 止め …… 日後場 ……

大阪期米特電

●二十一日前場 當限寄付 五十圓二十錢 中限寄付 五十圓十四錢

●二十一日前場 寄付 五〇、二九 高値 …… 安値 …… 止め ……

神戶期米特電

●二十一日前場 寄付 四九、九三 高値 …… 安値 …… 止め ……

下關期米特電

◎二十一日前場(晴)

	當限	中限	先限
寄付	五〇、四五	五〇、〇一	五〇、〇三
高値	五〇、四五	五〇、一〇	五〇、一〇
安値	五〇、二四	四九、九九	五〇、〇三
止め	五〇、三七	五〇、〇〇	五〇、〇八

釜山正米特電

內地期米の氣迷に伴れ市場商內機まず大體弱含ながら持合にて三等神力四十九圓五十錢毀良四十九圓七八十錢所にて四千四百叺許り出來せり▲大豆は大體持合にて京釜二十八圓三十錢所にて八百叺許り商內ありたり(二十一日釜山)

群山正米特電

當正米氣配は現物四十九圓五十錢と持合ひたるも先物は氣配稍弱く來月中物四十九圓五十五錢同末九圓七十五錢先五十圓二十錢各期二三十錢方の引弛みを告げたり

仁川期米

二十一日前場(引締る)

今朝は天候西南の風に大雪降りで阪地の入電未著なるも前日大阪の止め高を移して地場二流の買氣を益々刺戟せしと目先安を豫想して買込みし小口連の前買ひを換起爲し立會は當中出來ざるも先五十三錢と十三丁高に始めⓐの買りに五十錢と弛みしも押目は買氣旺盛にヂリヂリ引締りて六十一錢と跳返し六十錢と手堅く引▲第二節 當中出來先六十一錢より三錢と引締りしが戻りは全ⓜめⓣ山布の利喰ひ賣りに〇安の前買ひも消化して五十五錢と蹴落して引▲第三節 當出來不申中四十七圓五十四錢とⓣ買に縮まり先大阪前寄五十圓二十九錢と氣配の入電に接し五十九錢と下寄せしか押目は買氣旺盛にて三錢と手堅く持合ひに引▲第四節 當中出來ず先五十二錢より大阪跡高の噂さに各店より買物現はれ六十二錢と反撥し一錢と氣丈に引▲第五節 當出來ず中㊀買に七十錢と突飛せしかば先六十三錢より小口の煎れ物現はれ七十五錢と盛返し戻りは手詰めに一錢と弛るみて打止めたり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 ㊀ 齋藤榮之助 電話長三六七・三六六 電略(サ)又(ヤサ)

動機待買募ふ

今朝は阪地氣直り模樣を移し高め買氣を刺戟して先五十錢を安値に六十三錢と蹴上げ且大阪前場氣丈を移して買氣旺盛の場面となりしが押目は鮮人筋の猛烈買を喚び縱いては跡大阪五十錢臺を噂さして益々買氣を助長じ引際七十五錢と擔ぎ上げ一錢と小弱く打止めしが場面の商勢は京阪兩市場の當限渡米兎角難にて限月高を豫想し客筋は概して買募ひの傾向なるも賣方は正米の鈍狀を楯とし殊に玄人筋の買向ひ多き模樣なるが何分材料薄の折柄持合ひを脫せず從つて硬軟活動の時機熟せざるが如く結局兩者傍觀の體にて互に搾箱の機を狙ひつゝあり

依然たる買旺盛

前日阪地の後寄安に買氣を阻喪して三十五丁と崩れ四十錢と不勢の成行きに打止めしが今朝に到れば大阪の止め高と後氣配の手堅きを移して又復場面は買氣を刺戟して小口の前買ひも添へ商勢侮り難き傾向となりしが商內の仕手關係はマバラの群衆買ひに對し賣方は殆んど正米の手持筋に京城方面の鮮人筋の模樣なるが果して群衆買に凌駕さるゝかは疑問にして賣方に毆入れ甚だ深の有力者多き丈中限に廻り玉先れの暴落は免れざる如く見越せる向きが如し

二十日後場

寄付	止値	高値	安値	一節	二節	三節	四節
四九、四〇	四九、四〇	四九、七〇	四九、三五	四九、五七	四九、六三	四九、四三	四九、四〇

廿一日前場

寄付	止め	高値	安値	一節	二節	三節	四節	五節
四九、五三	四九、七一	四九、七五	四九、五〇	四九、五六	四九、六〇	四九、五一	四九、五七	四九、六九

本日出來高 廿七萬九千三百石

帳入値段 當限 …… 中限 四七、六〇 先限 四九、六三

後場爆發す

前場買氣旺盛を極めたる場況後止め五十圓五十七錢と高移りに接し當出來ざりしも買方の穴進に中四十八圓と反撥せしかば人氣を集中せる先限小口軟派の煎買に四十九圓八十錢と九丁高に寄付手詰め賣も消化して五十圓の關門を突破し〇五錢と反撥せしが新規買物と手詰め急ぎに仲惱み蹇割れの九十八錢と弱み新規買に五十圓〇二錢と引▲第二節 先四十九圓九十五錢より五十圓丁度と蹴上げ戻りは㊇㊁⑬全の利喰賣に地場二流の氣の斷引も加はり八十九錢と崩れしが跡九十七錢と返し六錢引

後場取組高 六千九百石 一萬六千石 四萬四千石

市場雜觀

昨年增資以降仁川取引所の成績は內地大市場以上の成績を現して居るが▲夫れに對する仲買店として何れを問はず成金振りを發揮し全鮮は言ふに及ばず內地滿洲方面の大手筋より續々と買賣注文に接し大正九年は初立會以來各店とも繁榮を來しつゝあるが其內僅か五ヶ年の淺き日月を以つて一躍萬金を握りしは㊀店主の廣澤正太郎氏である格別財產調べをする譯でもないが殖銀其他の手持株を時價に見積ると百三十萬圓北外預金等を加算すれば百七八十萬圓は下らぬと云ふ說が多い夫れで今度株仲買店を開始して益々活躍せんとする意向らしい斯かる世の中であるから現今の農家が全財產とする米を割安と見て賣惜むのも理の當然で如何に懷內が豐富でも商人が活躍して成金振りを發揮する以上農家も米を高く賣りて一生水吞み百姓でない事を表現せざるを得ないとは我國民の七割を占める農家の議論一致せし處らしい▲然れは今日の商人が値頃觀など唱へてッタバタしたとて騰落の權威は農家が支配して居る樣なもので斯の如く諸物價が昂騰しては勢ひ農家の態度を强硬ならしむる道理で目先安は兎に角大勢としては結局農家の權威に牽引されるものとは群衆心理の一致せし處で場面の商勢は猶も杓手も押目は逐かさず克く買附いて來る▲此の表合せでは此の儘の暴騰は望み難くもあるが併此の頃の群衆買ひは中々侮り難く少々位い叩かれても投退かぬのみか難平に買進み農家の態度と同一の步調に高値の現出するを待つと云ふ傾向がある其上地場二流筋が上買い安移りは如らぬ顏の半兵衛で成と來て居るから阪地の少々位過し一二十丁も高く移せば公定買いで人氣刺戟せんとする振合いなるもそを何時も棚にボタモチがあればよきがと云ふて居る向もをますで

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 仲買店 電話長一參七・二六二・五五

米が無盡藏でないか如く麥は猶更である今や政府は頻りに麥の攝取を云々して居るが成程麥食獎勵と云ふ事も或程度迄は必要であるが夫れを喰ふと米の六百萬石位を節するは何でもないと云ふのは米の收穫を知つては居るのかは知らね共麥の收穫が何程位あつて如何なる方面に向つての需用があるかを知らぬ罪である政治家なんかと云ふものは迂惡の其敗きものであると云ふ事を表示して居るのではないかとさは思はれる夫れよりも進んで今一段の外米輸入に全力を注ぐのが遙かに優つて居るのであるまいか然も今に至るも其持米を掛下げせず何時迄閑ふて居る考へであるか馬鹿らしい噺ではないか▲鮮貢米の解禁は時日の問題である今日では殆んど解禁されたに等しいものである然るに年額百八十萬噸の輸出力は全世界の需用に割當てると我日本に對しては極めて微々たるものである式に解禁發表されたなら早くも產地に於て百斤五六圓以上のプレミアム附を盛に權利の讓渡が行はれる事は疑ひなきを以て元價は高くないと云つてもプレミアムの爲めにせり上げらるゝを以て今後政府が直接輸入に當るとなつたら其の差損は蓋し莫大なるものとなるであらう

大正石粉工業株式會社 京城岡崎町九 電話一八四六番 振替口座京城五五七六番

京城正米市場

當地正米は稍々賣物增加の模樣ありまず氣配は依然として地搗上物四十八圓八十錢見當を唱へて底堅き成行きなるが精米筋は內地其他に不引合ひの折柄一齊に手控への狀態なるが如く今朝は大候の不良と相待つて賣らず買はずの閑散を極めたり

在米高稍々增加

一月十五日の京城在米は商銀、鐵道、漢銀、韓一、齋藤、甲田、米一の各倉庫の現在調査によれば玄米一萬二千二百五十三叺白米二千十四叺にして舊臘末の現在高に比較する時は玄米二千三百四十四叺白米二百二十一叺の增加を示せり元來なれば今少し數字の增加を見るべき筈なりしも大體が農家の豫想以上の豐作と新春早々屢々降雪ありて奥地よりの搬出不能なりし等にて豫期の如き出穀を見ざりし恨みあるが舊節季を控へ居れる丈けに眼先天候回復せば可也の出廻りあるべき見込みなれば下半月の在米は更に幾分の增加を見るべしと期待されつゝあり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 仲買店 電話長九〇五番 四四番 八三三番

平澤地方强硬

舊節季を控ふる關係上眼先天候の恢復に連れ出穀增加を期待せられつゝあるが鳥山平澤方面は凶作地とせらるる上新米出端以來既に手放すべき物は殆ど賣盡したるの觀ありて昨今賣物とし見てるべきものなく眼先舊節季の出穀增加も望み無きが如く從つて人氣は依然先高觀を脫せず

粟買望み小强し

粟は今尙活氣立ちしといふ程にあらざるも矢張弗々賣需の絕へざると前途本品の大需要ともいふべき時期を控へ居れる丈安値は大手の買漁みもあり旁氣配幾分小高き方にて本日は四平街一二月積二十二圓五十錢其他一月より四月積の間にて公主嶺二十二圓五十錢錦州二十三圓四十錢にて總計十四車の手合せあり未だ產地銀塊暴落の影響なしと雖一般商略戒氣味を脫せざる折柄眼先多少の變化あるや知るべからず

大豆依然强硬

大豆は昨報事情の下に引續き人氣强硬にて今朝は新金郊二十九圓六十錢長滿物二十九圓六十五錢の手合せ行はれ龍山物は矢張三十圓搦みの高値を唱へ眼先滿洲產地の成行きと內地注文の如何により更に一段の上伸を見るべきも中には天候障害の出廻稀薄による一時の現象とも言囃され居れり

京城在庫穀物

一月十五日の京城在庫穀物現在高は左の通りにして其內大麥七千九百七十一叺粟五千六百八十四叺の減十八叺小麥五千三百八十四叺の減退を主として其他多少の增減を示せるが粟大麥は地場及鮮內地方の實需によりて消化せられたるものなり

▲大豆三、一九三叺▲大麥一二、六八四叺▲小麥六、〇六九叺▲荏子九四八叺▲粳米一、七四三叺▲糯白一、一二三叺▲糯玄三、六〇叺▲小豆三、八七三叺▲胡麻三、六八五叺▲粟三、八二〇叺▲雜穀六、一四二叺▲綠豆一、〇二九叺

驛發著穀物

一月一日より同十五日に至る南大門驛發著穀物左の如し

到着の部 粟一、七四九叺▲白米四叺▲胡麻一二八叺▲裸豆二七叺▲赤小豆二七叺▲蕎麥七五▲高粱二七叺▲吉豆一二二叺

發送の部 白米六九四叺▲大豆八七叺▲小麥五七叺▲粟八〇叺▲胡麻二叺▲豆一五六叺▲吉豆二九叺▲糯五六叺▲雜穀二三叺▲黍八〇叺▲高粱二七叺▲綠豆一〇五叺

仁川正米市場

當正米市場は更に手合せ行はれず引續き閑散なるも安値は手持筋强硬にて四十九圓搦みは手堅き成行きなり▲大豆は人氣變らず二十八圓七十錢より上物二十九圓六十錢見當にて小口商內弗々行はれ居れり

綿布持合ふ

此一兩日來軟調の傾きとなりし粗布三エー票も頭問への一呼吸として買警戒となりしのみにて安値は手持筋買急がざれば無碍に氣配下押さず矢張現物の五百六十四五圓見當を維持し十六防も色めきの兆候ありし而稍他品との採算上新規買躊躇の有様にて其他一般傍觀的の商狀也

ひほおめしお 防水 保温

本品の特色 本品はフランネル布地に絕對的防水の効力のある防水劑と保温劑とを添附したものですから如何程尿水がかゝつても御召物や蒲團は汚しませぬ。おしめも二枚ですみます。ゴム布や油紙の如く冷えるひもありません。
本品の用途 此布地は防水が完全ですから產褥用、シップ用、お乳の漏れ等や汗よけなどの効能が偉大で保存も永く出來ます。
本品の使用法 日本の家庭に適する樣に至極簡單で、おしめと一所に赤さんの足からくるんで置けば宜いのです。
本品の信用 本品は廣告主義で賣弘めた品物でなく創業十年の實驗を積み飽迄品質本位で一度試用された人から人口的に弘めて下されたものであります。故に現在東京でも此種
使用 德川賴倫閣下 子爵 安藤鐵丸閣下 故 三好陸軍大將閣下 賜御買上榮 本郷順天堂病院御指定
說明書の「おしめおほひ」を知らずに却て地方使用者より聞かれて御求めになる方が澤山ある程です。されば本品使用者の家庭では「小兒と宮津屋のおしめ」とは密接の關係を保持して今日に至つて居ります。多く諸大家の御賞讃と御用も請けて居りますが一々說明等を掲げては山師流視せられますから自然致しません一に品質本位を以て皆樣の御批評を仰ぎます
大巾物は大人の病用する外、敷物やシップ用等に、蒲團衣服を少し汚されば不用になれば又小兒用にも御使用される實に重寶な物です御入用丈け幾尺でも御注文下さい。
新式(腰卷股あて付) 同大號(腰卷形大) 同特製 大巾(曲尺一尺) 同 [illegible]
送料 各一枚四錢 滿州、朝鮮各四十錢
發賣元 東京小石川新諏訪町貳八 (創業明治四十年) 宮津屋 振替東京參壹參九

ランソウ はらにカタマリが 出來又は子宮病子宮癌手術せず最良藥を報す返信料添へ申込め有れ 播州明石裁判所前西湧泉堂

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意 施療す 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義芳

りん病根治の發明
なぜ藥で治らぬか どうしても藥では根治しない
淋菌が一たび尿道に入れば、忽ち粘膜を侵して皮下に巢窟を作り、一方には粘液の出る無數の小孔の中に深く侵入して、此の二ケ所を根據地として盛んに繁殖します、其巢窟と小孔の中には血液も通はねば藥液も屆かぬのですから、何んな强い殺菌劑を服しても又は注入しても、只尿道面に在て居る淋菌が一時止治りするのみでありまして從來の總ての藥や手術では根治しないのが當然です
それを手輕に根治するには此器械を使用すれば本器獨特の眞空力に依り、尿道の全體に亘つて居る巢窟を破壞し且つ無數の小孔內の淋菌も吸收し液も悉く吸取て總ての根據地を絕滅し、數十年の痼病も忘れた樣に根切して全く再發せぬ眞正治癒の幸福が得られます、眞に醫師も患者も必要な小形簡便な器械です、現品には委しい使用法が添てありますから、患者一人で簡單に何時でも直ぐ治療し得られます
●男女淋病根治器(說明書付) 定價金壹圓八十錢・送料十八錢
東京京橋本材木町三ノ二五 新療法研究所 振替東京二九四九番
大阪北區北森町一同 大阪支部 振替大阪貳〇三貳
尙深く知たき方へは實驗說明付說明書に男女生殖器、泌尿不完全、痔瘻、こしけ、早漏、包莖等の自宅療法書を添へて無代進呈す

誰れでも獨習活用が出來る 斯界唯一、最新優秀の速記術
一時間の最低報酬 五圓 廿時間 百圓 以上の收入
▲帝國議會では僅か三ヶ月の勤務で六十圓から百七八拾圓の月俸を支給され▲府縣會では約一ヶ月で三百圓乃至五百圓の手當を受け▲新聞社諸會社では五六十圓から二百圓の給料を得らるゝ文明の利器
●熟達者は雷用飛ぶが如く諸士の講究を待てり● 昨年帝國議會に於て速記者募集試驗の際八十餘名の應募者中一番より七番(四番を缺ぐ)に至る六名の優等合格者を使用したが速記符號は時事新報記者熊崎健先生が多年苦心の結果 百九十字 發明せられたる速記術使用者簡明によりて本紙の權威を益々發揮せられたり從來の術式は改良を加へられたれども尙六百以上の符號にて成熊崎式は其三分一に滿たざる符號にて演說でも電話でも物の美事に速記し得るものなり一日五字を記憶しても四十日にて總ての符號は容易に記憶し應用し得らるゝ者なり此優秀なる速記術は弊社專賣の左記二冊以外に發行ものなし
東京朝日記者 熊崎康八氏述 百九十字 熊崎式速記術獨修 定價金貳圓(四百餘頁) 內地小包拾貳錢
高田博士序 近藤貞治氏著 百九十字 熊崎式速記術 定價九拾五錢(二百餘頁) 送料四錢 (口語 文章體)
質疑應答 發行所 京高輪北町二十二 長久社 振替東京貳七六八番

色白くなる!!!
私事色々な化粧品や賣藥など用ひても効なき處今回不圖した方法にて色白くなり顏のブツブツやザラザラなども消え失せました其方法を皆樣に御知らせしますハガキで御照會になれば離人にも委しく御知らせします但しそれについて一錢の謝禮も戴くものではありません
東京市淺草松葉町五四 生綿 蝶々子

日本で始めて出來た堅牢で德用な 總ゴム靴
防寒に適し 價僅かに 登錄 金六圓貳拾錢 試號 金五圓貳拾錢 皮靴の三倍以上保つ
皮革の暴騰で近頃は七八圓はするそれでも二三ヶ月位しか使用に耐へぬ不經濟なものである當商會化學研究部では年來苦心の結果歐米最新の學理を應用し最低價で堅牢無比の總ゴム靴を發明し販賣す左に本品の特徵を擧ぐれば一ズック製ゴムの類でなく全部總ゴム製で自轉車乘靴に最も適す二耐久力の强靭なること皮靴の三倍以上である三履き具合のよき步行の輕快なること到底皮靴の比にあらず四絕對に防水防寒に適し夏はサラリとして氣持よし五汚れし時は水で洗ひスグ用ゐらる
御注文の節は足袋の文數を詳記せられたし代金引換は送料共
製造元 東京神田裏猿樂町二三七五 廣業堂ゴム部

原料香水 オリヂナル
かるた 讀む優しき聲の聞ゆれば オリヂナルのよい香り 愈々高し
東京 安藤井商堂

料理店開業
謹啓各位益御清榮の段奉慶賀候陳者弊店儀今般其の筋に第一種料理店開業の出願致し居り候處愈許可の命に接し申候間今後一層勉强御贔負に酬ひ度存じ候間何卒舊に倍し御愛顧御引立の程偏に御願ひ申上候 敬具
追而弊店は景勝の地を占め居り花の晨雪の夕の一杯も又格別の風味有之候間宴會園遊會等ごしごし御用命仰せ付けられ度く候
會席 御料理 京城東四軒町(奬忠壇) 甘泉亭 電話二九八六番

最高級模範製繩機 エス式 S
▼說明書實付申込書送呈▲ 一地一名限り特約店を契約す
保證 責任 實附販賣
▼本機は製繩機中の模範なる最高級機械なり ▼實地の爲め一人一臺限り特價にて實付販賣をなす ▼詳細は御申越次第機械說明書と共に呈す
東京神田三崎町三丁目 販賣元 株式會社 東西商會 電話番町長二元七八

清酢値上廣告
貳月壹日より左の通り値上可致候
大樽一挺に付 金參圓
京城 植山酢造場 日月釀造場

…山崎幸三郎、同おさ子、長田爲治郎、同かね、山十八郎、河合定治郎、同つる、…清、川崎正誠、外人五名…

女の蜘蛛　江見水蔭

「七十九」　挿畫　近藤紫雲

『御両親の事が何か新聞に出てゐたのですか』と淀子は急り氣味で問ひ掛けた。

『姉さん、阿父様は、もう此世にはゐらッしやらないのですよ』と龍子は涙ながらに物語つた。

『ねッ』と云つた切り淀子は少時、呼吸の留まつたも同然に成つた。

『阿父様は、今から三年前の年の暮に、自動車に轢かれて、お死に成りました』

『ねッ自動車？』と淀子が叫んだ。

『あッ自動車に？』と頼之も連れて叫んだ。

『新聞には餘程注意しなければならない筈に、極めて輕い事件として取扱はれてゐましたけれど、北條家に取つては、どんなにそれが重大でしたらう……それと餘程注意して見てゐなければ、現在貴身の姉さんだッて、今日まで知れずに居る位ですから……』と語る龍子の涙は益々嵩を増すばかり。

『誰が阿父様を轢き殺したのです。誰です。誰です』と淀子の問は重ね掛つた。

『それが知れゝば好いのですが今日まで少しも手掛かりが有りませんのです』

『ちやア轢き逃げにしたのですね』

『然うですわ』

『まア何んといふ不德な奴でせう』

『妾は如何かして、それを探し當たいと思つて、それで人出入りの多いカフエーに奉公に出てゐますわ』

『嗚呼、龍ちやん、濟まなかつた。同じカフエーでウエートレスをするのでも、妾のは墮落の結果なんでした。甘い男を釣る爲なんでした。龍ちやんのは孝行からでしたか、敵を探す爲でしたか、嗚呼、目的が大變な相違ですわ』

『姉さんだッて、阿父様を轢き殺した當人を探し當てたいでせう』

『勿論ですわ』

『探して復讐がしたいでせう』

『無論ですわ』

『新しい世の中に、復讐するなんて、思想は遲れてゐるかも知れません、又法律で禁じても有りますけれど、何も昔風に、敵の首を取るのが復讐では有りませんわ。精神上に致命傷を與へる事も出來るんですから……それと知れた上は、姉さんだッて妾と一緒に努力して、敵討をしますわね』

『云ふまでも無い事よ、そんな不德漢を社會に生存さして置く事は有りません。新しい方法で、吃と敵を討たなければ成りませんわ』

『まア、それで妾も嬉しい。早く阿母さんに此事をお知らせして喜ばして上げますわ』

『まア斯うして姉妹が名乘り合つて、委しい話が聞かれたのも皆是は伯爵の御蔭です』

『本統に然うですわ、此御恩は忘れませんわ』

『此上は、どうか、二人に御力添へを願ひまして、復讐の後援をもお願ひ致します』

『どうか然うお願ひ致します』

右左から姉妹が涙を以つて水上伯に頼み入つた。

今まで一言もなく腕を拱いて二人の語り合ふのを聽いてゐた頼之は、初めて此處で口を開いて。

『然ういふ悲慘な結果で君達の父親は死なれたのか、それは實に同情に耐へない、及ばずながら水上頼之も、古風に云へば助太刀の一人と成つて、復讐を吃と遂げさせやう……必ず敵を討たせられやうと思ふが……然うして其三年前の年の暮れ……何日の何時頃の事で……』と問ひ掛けた。

『それは今から三年前の、十二月の、二十日の夜で御在ます、時間は午前一時過ぎで御在ました』と龍子は答へた。

『で、場所は？』

『麹町の一番町と上六番町との間の空地で御在ました』

『自動車の番號は……らなかつたらうね』

『それが知れてゐますと好いのでしたが……』

『何か手係りは無かつたかね』

『何にも御在ませんでしたが……病院へ擔ぎ込みました父が、夢中ながら、ヒ、コ、キ、といふ言葉を申ました』

『それ切りかね』

『それ以上は何にも申ませんでした』

日報詩壇

哀語悲語　眞鍋燒勇（京城）

○小さき總嗟の目を以て
權勢の前に涙すな
ネロや清盛が笑ふぞよ

○はてしもあらぬ大洋に
自由の小舟揖して
漁る男子の肌を見よ

○風は星を吹き落さんとす
白い雪の野路を
驢馬は無心に鈴鳴らす

○少女が花園を運んだ
明かるき演壇に立ちて
若き牧師の厳かに語れる

○細き女の足音に
鼠は騷しく逃げ込みて
厨の灯は冷たく光りぬ

○燃ね息ぬ失望の心
放逸に走らんとす
涙も消てさんかな

○黎明の光露に燦きて
快樂の名殘りあざ笑ふ

○天なる聲の如き鐘の音よ
心情を放つべき的を得ず
放浪の旅に出で行きし
若き友の幸ひを希ひぬ

希望　中村百姓（京城）

そは我にありては唯一の希望のみ。

先人の成就せし自らの暗示は
目下の原野の如く荒涼に
一日の生活の殘骸は天空の無限なる尾の如く——微細なる悲哀の兆候は人に來り、更りては
亦消え行くこと疎なる枯草の如く
ただ原始の音調。
人間の持し殘虐の變及劍は
征服の凱歌と共に
岩にも涙の更に落され
背の如き冬の森林の中にも——
いや果ての後の日は如何に。
そは我にありては唯一の希望のみ。

詩壇消息

詩友諸君から受けた多くの年賀狀に對し一々返禮を認めればならぬ筈ですけれども虚禮を廢すると云ふ意味から失禮する事にしました▲それに來る二月八日の短歌會もある事ですから一度は諸君と顏を合せて親しく語る事も出來るだらうと思つて居ります▲詩の方は可成り原稿が集まりますが中には三行詩と自由詩を混同されてゐるやうな方もありますので其邊は少し考へて貰ひたいと思ひます▲詩にしてもあまり軟弱な戀愛の取扱かつた平凡なものは少し控へめにして貰ひたいと思ひます▲原稿は十五字詰にして書體を明瞭に願ます（草人）

讀者の領分

▲中西義子さんは新義州常盤町七丁目千利俊四郎方の令夫人となつて居られます（ＲＹＩ生）▲Ｋ Y生へ小生支那語研究希望なり御善岡へなくば師教授を願ひたし又御住所御何たし（中正生）▲庭汗生に答ふ　それは海鼠の生酢醤油で食ひますと直ちに治ります若し海鼠が手に入らねば牡蠣の生酢醤油で食つても効があります（紫陽生）▲私は中學校だけ卒業しましたが耳が惡いので困つて居ります何處か雇つて戴くことは出來ないでせうか（不遇な男）▲私は一ヶ月二回乃至三回鼻出血あり五ヶ月に及びしも未だ快からず困つて居りますが何かよき療法のありませんか何卒本欄遊御慈悲に御知らせ下さい（病苦生）▲小生勸業債券を持つて居りますが毎月抽籤月報を見る譯にはいきませんし何とか年に一回でも抽籤の結果を調査する方法があればよいと思ひますが其筋の方或は御承知の方は教へてくれませんか（不知生）▲餘り大きくもなき犬一匹下さる御方はございませんか若し下さる方之有候へば御手數ながら電話二五二九番に御掛け下され度早速參上致すべく候（西本）▲はるばる朝鮮迄参りましたところ國では父が腎臓炎にて入院しなければなりませんので夫の收入ばかりでは思ふ樣に出來ませんから何か妾に出來る職業が御座いましたら教へて頂きたいものです、仕立物なさせて頂ければ誠に結構で御座います（二十一女）

冷性とコシケ　女の白帶赤帶は怖ろしい

婦人は一般に身體の冷ゐるのは時候の故だとか先天的だとか思つてゐる方が多いやうです。『私は人一倍冷性で年中手足が冷通しだ』とか『陽氣の加減で此頃大層足腰が冷る』とか云つて始終冷るのを苦にしてゐながら其儘に打捨ておく人が多いやうです是等は畢竟醫學上の智識に暗い爲でせうけれど又一つには昔から誰云ふとなく女は冷ゐるものと相場を定めて病氣で冷ゐるのも生理的に冷ゐるのもすべて性分だと誤解してゐるにも因るのです。寒い時分には誰しも多少手足の冷ゐるのは當然ですが今日此頃一晩中冷ゐ通してそれが爲に快く眠られぬなどは何處か身體に故障があるからです。況して子宮病や血の道は冷ゐるのが特徴の一としてあるからこんな徴候のある婦人は大病でないまでも確に子宮に異狀があるものと見做さねばなりません

こんな危險を知らぬ佛

次ぎに白帶下についても大體間違つた考へを持つてゐる婦人が多い試みに『貴女こしけがありますか』と聞いて見ると大抵の婦人は多いとか少いとか答へるに定つてゐます、それでは何か差る所があるかと云ふに決してそうではない只漠然と近所の人や友達の話しを聞きかぢつて妾のも多分さうだらう位の考へで言ふので盲蛇に怖ずの喩の通り洵に危險千萬な事です、なぜなれば冷性と白帶下とは共に婦人科の病氣には附き物で殊に慢性の子宮病や卵巢病には必ず現はれる所の特徴であるからです

白帶下にも種々ある

所で白帶下と云つても總て皆同樣ではない、或は濃い膿汁樣なのもあれば或は透明に水の樣なのもあり或は透明で粘稠なのもあり或は血液を含んだ膿汁樣なのもあり其他十人十色で色々種類があります斯樣に白帶下の種類が異なるのは病氣の急性であるか慢性であるとか或は患者の體質や病氣の性質によつて違ふのです、何れにしても右樣な白帶下ある婦人は既に病氣に罹つて居る證據で殊に白帶下の多量にある婦人は子宮內膜炎、外膜炎、實質炎、輪卵管喇叭管炎、子宮頸管加答兒、膣加答兒等の病氣であるものと心得ておかねばなりません

油斷のならぬ容體

下腹が痛み、又は張る樣に覺ゐ、惡感、發熱、內股より腰に引釣み、尿道頻促、下腹筋張つかへ、腰は冷て手足痺れ、頭痛、肩凝り、眩暈、逆上、月經不順、耳鳴、或は眠くは眠らんを好み、氣分鬱ぎ、神經過敏、ヒステリー、動悸、息切、食慾不進、血胸氣又は女子の勞めが脈ふ等の容態は皆前記子宮病、疾患に伴ふ症狀にして白帶、赤帶の有毒分泌物は早晩、流産、難娠を防ぐのみならず時に全身の營養を害ひ貧血を來し又は腹膜に及ぼし危險なる重症になるのです

婦人病相談手

以上は白帶下と冷性とに就てホンの大體を述べたゞけですがさて之が治療法はと申せば勿論病氣の種類によつて手術を要する場合もあれば藥物でなければならぬのもあつて此區別は一寸素人には判斷がつき兼ねます、そこで婦人科專門醫學士が是等の患者を救濟される目的で書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本をお讀になれば御自分の病氣にはドウして手當して宜いかドウすれば安全に自宅で治療が出來るかを最も親切に教へられてあるから兎に角ハガキ又はこの新聞紙に五厘切手を貼つて東京市京橋區新榮町笹岡省三苑御申込になれば『婦人病者の心得』が無代で貰へると同時に乾度皆樣の無二の相談相手となつて子寶と健康とを得られることを信じます

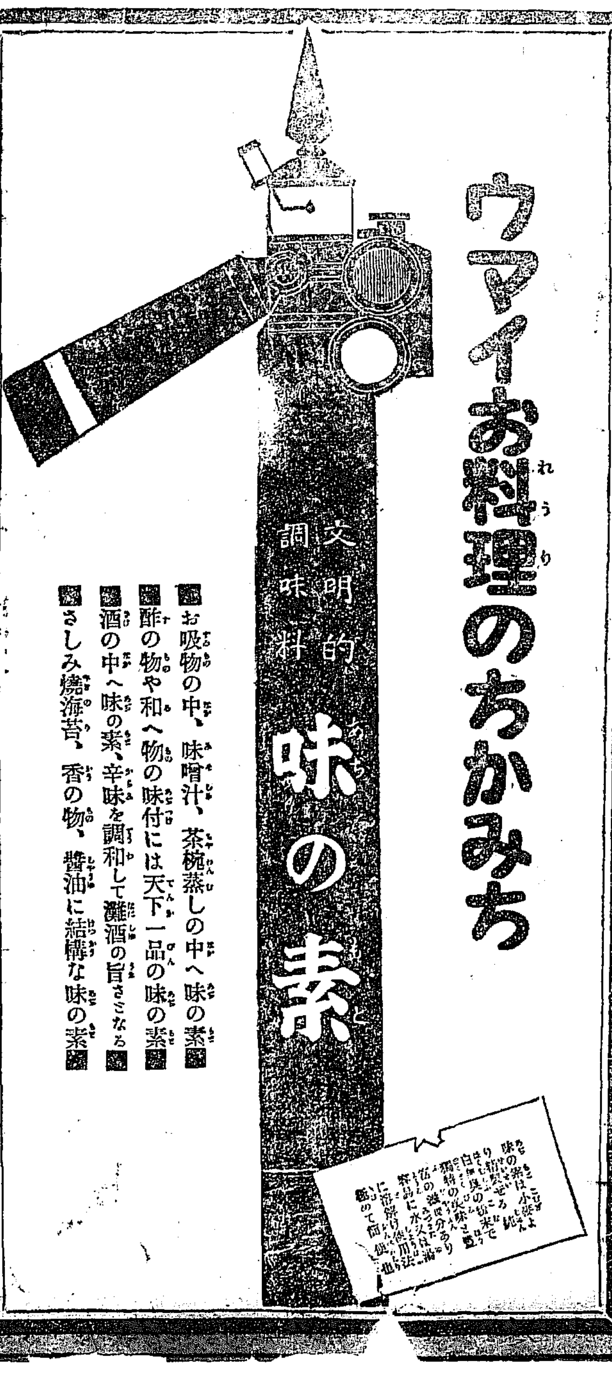
相州三浦郡越賀　伊藤光子（二十九）

民間經營日用品廉賣事業の
特約賣店募集

物價の暴騰は止め處がなく政府當局でも生産者と消費者の接近が一番手近い調節方法であると言はれて居る要するに一番馬鹿を見て居るのは需要者と製造業者で安い原價で製造した商品を途中で小賣商人が仲介業者や問屋業者の手に入る迄には製造原價の二倍三倍と云ふ高價で需要者の手に入る爲中間業者が聯合して各自の製品を直接小賣業者に直卸を開始し是れに依り日本全國に一日も早く廉價な日用雜貨を供給し今日の社會に無二の便益を計るので各地販賣店即ち特約店となつて此有望な獨占的事業の利益を受けんとする士は返券入東京本郷區湯島六ノ一五株式會社東京日用雜貨製造組合卸部へ照會次第詳細なる案內書と數萬種の日用雜貨製造直卸原價表を一部無代送呈す。

GOSPEL　強壯劑　男女　ゴスペール
神經衰弱　陰萎精神的
陰萎衰弱性射精　早漏
夢精　遺精
東京市下谷區長者町　竹屋藥局　吉田藥堂

古本と古雜誌買入
京城本町　電話二五二七　ウツボヤ書籍店



ウマイお料理のちかみち
文明的調味料
味の素

■お吸物の中、味噌汁、茶椀蒸しの中へ味の素■
■酢の物や和へ物の味付には天下一品の味の素■
■酒の中へ味の素、辛味を調和して灘酒の旨さとなる■
■さしみ燒海苔、香の物、醬油に結構な味の素■

滿足されます
この白粉を用ひて初めて滿足なお化粧が出來ます
白さに艶のある——最新發明

理想的白粉の出現
本舗の試驗部が獨特の技術を以て純クリームと白粉との化學的混合調製に成功して今回初めて發賣したものです、使ひ心地のよいことは從來曾て見ざるところとして既に各方面に歡迎されて居ります

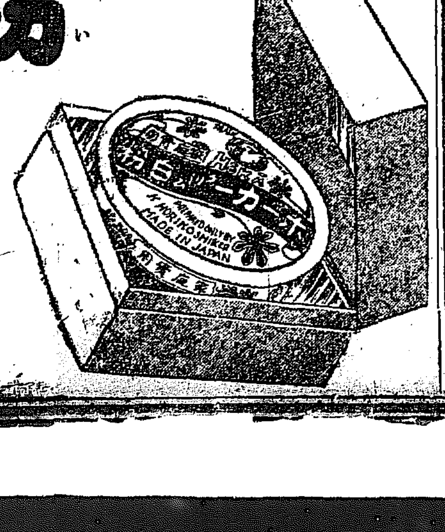
大德用　上品向
家庭德用向……ホーカークリーム白粉は少量で滿足なお化粧が出來ますので家庭向として頗る德用で御座います

ホーカークリーム白粉

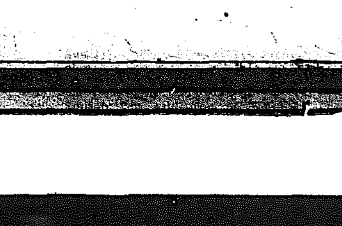
□白さに艶をもち　□ノリノビ善く　□被く力も強く　□肌アレを防ぐ
□白粉ヤケせず　□變色の憂なく　□化粧崩れせず　□艶麗さを增す

全國到る處の小間物化粧品店藥店等に販賣す若し品切の節は本舗直接振替か切手にて御注文を乞ふ
定價　一瓶金六十五錢

本舗　東京神田和泉橋際　總發賣元　堀越嘉太郎商店
電話神田（特長）　振替東京



一歩を進めて
——この新春より——
身體改造の根本！……
總身驅毒療法として
服用を……

眞に良く効く
ウトダ　百毒下し

本舗伊勢　加藤翠松堂